京城日報

二日夕刊

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 郵券代用二割增
廣告料 五號活字一行金七拾錢 一行二號活字同樣 三號活字の事

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯（四五番）營業（二六番）
振替貯金口座 京城一〇〇番

# ◎外交總長後任如何

國民黨派の人々は外交總長は唐氏の後任なれば同派の人を出す可しとて梁啓超を推薦し居れば陸徴祥と孰れが選に入るか目下の問題なりと（北京電報）

# ◎露賠償金を軍器代充當

露國政府は北清事件による支那政府の賠償金一億四千萬留を我國に讓渡し之れを軍器代金の支拂に充當する事となすに至るべしと（東京電報）

# ◎疑問の駐獨米使の歸國

華盛頓來電＝駐獨米大使ゼラード氏歸朝に關し歐洲來電は種々の憶測を傳へつゝあるが國務省は純然たる賜暇歸國なりと總て之等の報告を打消し居れり（紐育電報）

# ◎希臘航空隊の參加

希臘航空隊は全部聯合軍に參加したり（紐育電報）

# ◎希臘參謀總長の奏上

雅典來電＝希臘參謀總長モスチヨプロス將軍は國王に向ひ今後二週間以內に希臘軍隊の全幹部は悉くサロニカの聯合軍に投ずるに至る可し然る時は動員不可能なりと奏上せりと云ふ（紐育電報）

# ◎羅軍の形勢頗る良好

ブカレスト來電＝一箇月に亙る戰鬪の結果羅馬尼軍はトランシルバニアの三分の一を占領し形勢頗る良好なる趣なり（倫敦電報）

# ◎大山公爵 松方侯を訪ふ

內大臣大山公は山高帽にフロツクコートの外套を著し一人の從者を從へ一日午後二時鎌倉驛に現れ驛前より二人挽の腕車を驅りて直に由井ケ濱の別邸に松方侯を訪問し會談約一時間餘に亙り夕刻歸京せり（東京特電）

# ◎松方侯の歸京

松方侯は二日鎌倉より歸京し大隈首相と會見の筈（東京電報）

# ◎後藤男邸の密議

一日夜麻布後藤男爵邸に仲小路廉有松英義の諸氏會合深更迄密議を凝せるが政變問題に關する事勿論にして時節柄多大の注目を惹きたり（東京電報）

# ◎演習參加部隊

北鮮部隊演習に參加す可き咸興步兵第七十四聯隊は二日琴平丸昌平丸にて淸津に上陸羅南へ向へり（淸津特電）

# ◎國分長官

國分司法部長官は一日立神丸にて淸津著二日朝會寧に向け出發せり（淸津特電）

# ◉希臘の參戰 戰局の將來

希臘は愈々其態度を決して聯合軍側に參加することゝなり勃牙利に對して宣戰を布告する事に決定したるが如ぎが同國の蹶起は羅馬尼の蹶起したる當時之れと同一行動に出づ可かりしも種々擾纈せる事情の爲め遂に今日まで遷延したる次第にして敢て不思議とするに足らず寧ろ其の遲かりしを惜しむ可く之れに依りて ▲停滯せる巴爾幹 の戰勢は再び大に活況を呈するに至らむ而して希臘の陸軍は常備五軍團を有し戰時一軍團の編成約四萬なるを以て其の兵力は二十萬を算す可きも其の他に尙ほ豫備補充等を加へて總數二十五萬乃至三十萬に達す可きが既にサロニカに集合せる英、佛、伊、露聯合軍の兵力約四十萬を合する時は優に勃牙利軍に當るを得可し斯くて聯合軍が希臘を起たしめたる當初の目的の如く獨土の中間を中斷して勃牙利を全滅し土耳古亦其掌中に歸して獨土の聯絡を遮斷するに至らば殆に ▲巴爾幹に活路を 開き軍需品その他物資の供給を得て其今日まで保持し居たる獨逸は爰に再び重圍の狀態に陷る可くダ海峽は全然聯合軍の支配する所となり軍事上及び交通上其の他非常の利益を得るは勿論延いては更に墺何國の危殆を招致するものといふを得可く即ち同國內に於ける幾多の民族中塞爾比人と同種族の國民は之に策應して國內に紛亂を發生するに至らむ果して斯くの如しとせば巴爾幹の戰局は希臘の蹶起に依りて最後の決著を見るならん獨逸も同國の聯合軍側に參加せんことは既に業に豫期せる處にして之に對する準備の如きは殆ど遺憾なく整ひ居る可きを以て希臘軍が果して ▲勃牙利軍を擊破 するを得るや否やは今日猶ほ疑問に屬すれども巴爾幹諸國の存亡は此の勝負に依りて全く決定す可きが故に最も悲慘にして猛烈なる一大血戰が近く決行さるゝは察するに難からず之れ歐洲大戰の將來は之が結果如何に依りて其の注目の價値ある所以にして其の歸結する所を窺ひ得るに至る可し（某外交通談）

# ◉時局と朝鮮貿易

## 輸移出の大增進、輸入の減退＝注目すべき移入品

前年度中朝鮮貿易の受けし時局の影響に付其筋の調査を聞くに ▲輸移出品 にありては前年大打擊を受けたる大豆黑鉛等の出荷は時局の推移に伴ひ漸次悲境を脫したるのみならず內地に於ては露國より軍需品皮革製品大注文を受けたるが之れが原料として牛皮の需要激增したる結果同品の移出は前年に比し一躍二倍以上の巨額となり又朝鮮に於ても永登浦皮革會社に於て露國軍需品の注文を引受け長靴彈藥盒等二百餘萬圓の大輸出あり內地に於ては時局の爲め工業勃興し其の主產原料に供するの必要上若くは ▲船腹不足 により外國より輸入困難なるに基づく價格の騰貴等は朝鮮より米荏子胡麻牛脂棉花亞鉛鑛金石鑛石炭外國產染料等の出荷を促したる等貿易上好影響を受けたるもの頗る多きに反し惡影響の方面は極めて微弱にして唯鑵詰は製鑵材料たる葉鐵錫鉛等の價格騰貴の爲め不引合となり又寒天は前年時局の勃發に依り大打擊を蒙り本年事業を休止せしものありたる爲め何れも出荷減退したる等に過ぎず然るに ▲輸入貿易品 にありては其の影響甚大にして敵國生產品の激減は勿論英佛米其他歐米諸國の生產品も輸出禁止價格の暴騰船腹の不足運賃保險料等の騰貴により輸入澁滯し爲めに小麥粉コンデンスミルク麥酒酒精アニリン染料鐵及び鋼ダイナマイト等主として歐米の生產に係る重要品は孰れも著しき減退を來したるのみならず一面に於て朝鮮より歐米諸國に對する輸入貿易は一般に不振を示したり次に ▲內地より移入 貿易は敍上外國產品の代用補充等の爲め概して增加を告げ殊に從來專ら歐米諸國より輸入せられし小麥粉石油鐵釘窓硝子等に於て外國品に代位して內地品の移入を見るに至れるが如きは最も注目に價する所たり而して專ら時局の爲め輸移入の增加を來したるものは僅に軍需品製造原料熟皮の外著しきものあるを認めず

# ◉米國大使乘船

支那視察の途にある駐日米國大使ガスリー氏夫妻二日朝下關發關釜連絡船にて渡鮮せり（門司特電）

# ◉米國大使來鮮

駐日米國大使ガスリー氏は夫人及びビームス、ホール兩夫人（米國上院議員夫人）同伴支那視察の爲め北京に赴くべく十月一日東京發二日夜釜山上陸鐵道ホテルに一泊三日午前釜山發同日午後九時南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに入るべく總督府よりは菱田通譯官水原迄出迎へ山縣政務總監小松翰長其他は停車場に大使一行を迎ふべし

# ◉京城に於ける米大使

三日の夜入京すべき米國大使ガスリー氏は四日午前總督府に山縣政務總監を訪問敬意を表し午後は昌德宮に參候秘苑の拜觀あり更に女子高等普通學校に於て鮮婦人敎育狀況を視察し午後四時より六時半迄は米國領事館にて在京米人を接見五日の朝南大門驛發北行の豫定なるが大使は本年以來好季節を卜し支那朝鮮視察の希望ありし由尙氏は先般來鮮せし鋼鐵王ゲーリー氏と同じくピッツバークの出身にて大使就任前は辯護士を開業し溫厚篤實の紳士なりと

▲總督官邸 山縣政務總監は三日入京する駐日米國大使ガスリー氏を四日正午總督官邸に招待し午餐會を開催する由なるが各部局長官小松翰長其他要路の當局陪席すべし

▲總領事館 米國總領事ミラー氏は四日午後八時よりガスリー大使を招待夜會を催す由なるが在京各領事並に總督府よりは小松翰長菱田通譯官陪席すべく山縣政務總監は川村元帥入京の爲め列席せずと

# ◉西川少將入京

前關東都督府參謀長參謀本部第四部長陸軍少將西川虎次郎氏は二日夜滿洲方面より入京朝鮮ホテルに一泊の筈

# ◉兩支店長歸任

入京中なりし鮮銀大連支店長太田三郎哈爾賓支店長阿部讓の兩氏は一日夜發列車にて北行歸任せり

# ◉水口關稅課長出張

關稅課長水口隆三氏は近く鎭南浦稅關に出張すべしと

# ◉辭令

平安北道長官 川上常郎

敍勳三等 朝鮮總督府檢事 寺田恒太郎
同 判事 淺見倫太郎
全羅南道長官 宮木又七
朝鮮總督府判事 石川潔

敍勳四等 朝鮮總督府事務官 呼子友一郎
同 警視 河內山樂山
同 檢事 渡邊鷹次郎
同 土谷榮太郎

敍勳五等

司法官試補を命じ京城地方法院及檢事局に於て事務を修習すべし 一級俸 細井亥之助
司法官試補を命じ大邱地方法院及檢事局にて 同上 五井節藏
司法官試補を命じ釜山地方法院及檢事局にて 同上

# ◉錦山道路決定

忠南大田より全北錦山に通ずる八里の道路は三等道路なるも大錦間商關係あると共に經濟關係尤も深く道路興廢は多大の影響あるを以て屢々兩地有志間に改築の議ありたるも決定を見ざりしが先般溫谷本道第一部長及び實業協會役員の實地踏查により錦山有志との意趣投合し官廳相互の協議も熟し第一部長及び協會役員の後當地有志者との協議整ひ再び本道山本土木主任全北伊藤土木主任二十九日大田に於て會見熟議の上本年度內に於て施行する事に決定せり工費は具體的に判然せざるも約三千圓の見込なりと（大田）

# ◉新穀走り

京釜沿線中刈入れをなしたる地方ありて鳥致院市場には既に新穀の走り現はれ石十一圓二三十錢にて取引あり漸次新穀の出市增加すべしと

# ◉平壤市民大會

既報の如く平壤市民は砲兵支廠設置請願に關し一日午後七時より壽町歌舞伎座に於て大會を開きたるが定刻前既に聽衆場に滿ち立錐の餘地なきの大盛況を呈したるが大橋委員は開會の辭として平壤の過去に於ける施設事業失敗の歷史を述べ今回の砲兵工廠支廠設置問題に言及し其の目的の貫徹に努力すべしと述べ各辯士交々登壇して熱辯を揮ひ最後に大橋委員長は大會決議宣言書を朗讀し滿場破れん許りの喝采裡に閉會せるが大會決議事項の實行委員二十五名を委員長より指名し愈々請願運動に著手する事に決定せり當日の辯士氏名演題は一、開會の辭大橋恒造二、砲兵工廠設置問題と平壤神坂退三三、市民の覺醒機上谷亮造四、平壤の興廢內田綠雄五、平壤發展の資本松本哲六、一致團結富田晋次七、平壤の價値古莊仁太郎八、決議文朗讀大橋委員長九、平壤の將來松井民次郎十第二回決議文朗讀大橋恒造の諸氏なりしが番外飛入として商坂一惠後藤一二氏の所感演說ありたり因に大會決議文は左の如し

我が平壤の現狀に鑑み大正六年度豫算に由り朝鮮に設置せらるべき砲兵工廠支廠は我平壤に定められん事を其筋に請願するの件

終つて各委員は大同館にて親睦會を開催せり（平壤）

# ◉視察團報告會

既報の如く釜山商業會議所主催浦鹽視察團一行の報告會を一日午後一時より會議所樓上に於て開催せるが石原氏の會議所代表談中村氏の米穀商代表談許斐氏の再製鹽談等總て耳新しき研究資料談を試み午後六時閉會せるが其れよ

り東亞貿易研究會の一行に對する慰勞會を鳴戶樓に開きたるが席上大池會頭の同員に對する謝辭あり後東亞貿易研究會の交通部に關する現下の三線連絡問題に對する當會議所の方針經路等を報告なし實に移る席上と三線連絡問題と對露貿易の談にて午後九時散會せり

# ◉京城府の市場召集

京城府にては二日午後一時より食料品其他各市場の管理者一同を召集し石原事務官より衞生上取締に關する一場の希望を述ぶる所ありたり

# ◉大阪だより

▣今年の夏は非常に長く彼岸來るも最高九十度を見たるが昨今の降雨にて秋涼頓に催し候當地流行の虎疫稍下火となりしも未だ全く終熄するに至らず諸博士は自動車を飛ばして路傍演說をなし或は高安博士脚色の活動寫眞を無料觀覽せしむる等大に努め居り候去月十二日發生以來大阪府下市郡を通じて總計千七百に及べり

▣歐洲戰亂の好影響にてさま〴〵の成金簇生候へど又一面破綻の憂目を見るもの有之候、安土町多田孫商店は天竺牡丹の思惑に失敗し其損失十一萬四千圓に上り終に破綻を暴露いたし候、之れに對する債權者は京都の伊庭商店外四十八軒あり幸ひ九月物のみは各關係者とも豫め準備をなせしを以て差したる事なく受渡も圓滑に進捗すべき望みあれど十十一十二月物は當さへ買占め行爲行はれつゝある際にて意外の影響を及ぼさゞるなきやの懸念あり同店資王處分如何によつては其の期日到來と共に第二第三の多田孫現はるゝやも測られず候

▣仕入洋服仕入衛模樣から仕入別莊など重寶がられる世の中とて昨今阪神の造船所にては仕入の大船を造り買ひ手のつくを待ち居り候川崎造船所の松方社長の如き戰後大の强氣にて各方面より造船材料を買求め仕入船を造りて多くの利益を收めつゝあり目下滯歐中の同氏は日本製最上等のストツクポート噸四百圓を安い〳〵と絕叫いたしをる由に候

▣美顏白粉の製造元桃谷政二郎氏二男韓次郎氏は當年二十八歲にて既に東大の醫科藥學部に學び卒業の際名譽の銀時計を受今尙同大學に籍を置て學業に勉勵中なるが來月八日京都二條木屋町博物標本製作業島津源藏氏長女まち子（二十）と華燭の典を擧ぐる由なり茅出度事にぞんじ候

▣大阪浪花座にては十月一日より雁次郎、梅玉等の一座にて興行東京よりは松本幸四郎も參加する事に相成り既に著阪いたし候、柴屋に投宿久々面會候、同人の話によれば來年はいよ〳〵藤間勘左衛門を襲名する由に候而して芝居の間には家の稽古もする由に候

▣北陽の名花豆奴は十月一日を卜し赤飯の引祝を配り目出度妓籍を去る由に候而して其のお施主は南江蘇北に隱れなき大阪商船會社の取締役加藤力太郎氏に候（支局にて大阪探題）

## 平壤

▲女子高普展覽會 平壤女子高等普通學校に於ては十月下旬同校內に技藝品展覽會を開催すべく目下着々と準備中なり因に同校生徒百五十餘名は去る廿九日漢北に遠足を試みたり ▲中學校建築工程 平壤中學校寄宿建築工事は其後工事大に進渉し大工建方及び瓦葺等一切の竣工は本月中旬を以て終了すべく之れと同時に新築宿舍に移轉すべしと

## 仁川

▲署長巡視 松元仁川警察署長は二日午前より港內及び富川郡の防疫狀況を視察したり ▲防疫費寄附 本町四丁目野口商會は一日十圓寄附したり ▲府尹上京 久水府尹は防疫事務打合せの爲め二日午前十時都築書記を隨へ上京し即日歸任の筈 ▲救助人員 仁川府に於ける一日迄の貧民救助延人員數は六萬五千六百人にして施米石數は百七十七石に達したり

## 大田

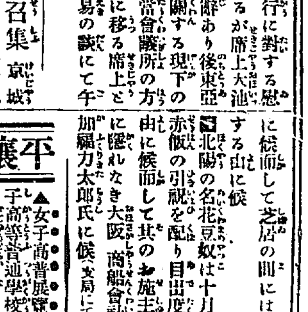
▲演習兵歸隊 步兵第七十九聯隊第一中隊及び第二中隊集合演習の爲め來田中なりしが一日朝出發各任地に歸隊せり ▲記念端書賣行 一日大田局にて始政記念繪端書を賣出したるに三百組は午前八時迄に全部賣り切れとなる

## 大邱

▲月背面實耕作況 慶北達城郡月背面地方の煙草耕作は本年降雨ありたるにも拘らず豫想以上の成績を收め耕作者は樂觀しつゝあり此地方のみにて生產額九十貫を下らざるべしと ▲大邱煙草業者合同行惱 南鮮に於ける民營製造家は現狀の儘にては到底事業を繼續し能はざれば釜山煙草及び大邱各製煙家は東京紅葉屋より資金を仰ぎ大合同を企てんと頃日來大運動を開始し大體に於て交渉を進めつゝあるも合同條件事業經營等に於て行惱みつゝあり然れども民煙側にては如何なる方法を講ずるも專賣法施行までは事業を繼續せんと善後策を講じつゝあり ▲朝銀支店次席轉任 朝鮮銀行大邱支店次席向井氏は今回神戶新設朝鮮銀行支店へ轉任され後任として京城本店より太田善之助氏赴任の筈

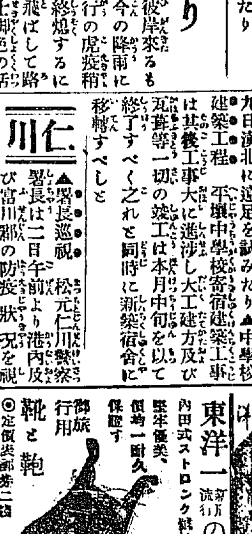
## 人事消息

▲松本雅太郎氏（淑明幹事）二日夜南鮮より歸京
▲山本壽榮氏（牧師）二日朝南大門發京都へ往復三週間の豫定
▲梶原末太郎氏（貿易商）二日南大門發大阪及び東京方面へ（三週間の豫定）
▲井口彌壽男氏（牧師）二日朝發神戶へ
▲本田常吉氏（平壤府尹）一日午前釜山上陸歸任
▲西崎鶴太郎氏（鎭南浦商業會議所會頭）一日夜入京浦尾旅館に投宿の處二日朝鳥致院へ赴き三日夜再び入京の筈

仁川本町四丁目 吉金酒店 電話七六四番

東洋一 新流行の魁 內田式ストロンク鞄は堅牢優美、價格一割久保證す


御旅行用 靴と鞄 ◎定價表御送呈 東京市芝區櫻田伏見町角 內田靴鞄製造問屋 電話新橋一五五一、一八〇一

白神洋行 鐵 鋼材 浪板平板 針金洋釘 新田帶革 總代理店 物價表御一報次第無代進呈 ペイント油類一切 マークスセメント 耐火煉瓦、モルタル スコップ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他

大阪今橋 緒方婦人科病院 院長 醫學博士 緒方正清 次長 醫學士 緒方祐將 ドクトル 醫學士 箕源光雄 醫學士 高野三男 曾根源作 電話本局 一一九〇四、一九八五、一九八六番
內務省指定 緒方助產婦敎育所 ◎產婆生徒 本科每年十一月 別科隨時入學

最上 鶴 醬油 關西商會醬造所 京城府龍山元町 電話三九十番

# 莊嚴なる立太子式
## 各御儀と其の御日取

皇太子殿下には十一月三日宮中賢所大前に於て莊嚴なる立太子の式を行はせらるゝに就き宮內省にては別段委員の任命なきも愈御式も一箇月後に迫りたるを以て各部局にては其々準備中なるが各儀式の御日取左の如くなりと漏れ承はる

十一月一日　神宮勅使發遣の儀　神武天皇山陵並に光格、仁孝、孝明山陵勅使發遣の儀

十一月三日　賢所　皇靈殿　神殿奉告の儀、神宮奉幣の儀、神武天皇山陵奉幣の儀、明治天皇山陵奉幣の儀、賢所大前の儀、賢所皇靈殿神殿に謁するの儀、參內朝見の儀（正殿）

十一月四、五日　宮中饗宴の儀（豐明殿）

# 立太子式と京城
## 官民學校等の奉祝の次第

立太子式の御儀に就ては內地の各地に於ても目下夫々奉祝の準備中なるが特に今回は質素を旨とし一般人民の負擔を重からしめざる樣との御內示の程もあることゝて何れも只だ奉祝を申上ぐるに過ぎずして別に祝賀會等の催し等は見合すもの多き模樣なり京城に於ても未だ總督府に於ける奉祝の方法決定せざるため從つて一般民間官廳、學校等も奉祝の次第決定せざれども內地同樣當日は休業し學校に於ては式を行ひ一般には國旗球燈を揭揚する位に留め提灯行列奉祝宴會等の催しは目下の所行はれざる由なり

# 初獵のお手柄いろ〱
## 一日から解放された狩獵家連の面目

一日から獵期に入つた、此の間內から腕を扼して待ち構へた銃獵家は勇み立つ犬を追ひ立てゝ、宛かも日曜を幸ひに孰れも數日前から狙ひを付けてゐた各獵場へ出掛けた人は甚だ尠なくなかつた

▲一日の未明　の一番汽車で行つた人、急行で京義、京釜の兩線に行つた人は澤山あつたが中には前日の十二時過から武裝輕く膝栗毛に鞭打つて東大門外から纛島近邊へ出掛けた熱心家も可なりあつた、東大門外へ往つた者は鴨を目的とする本職の獵師連中が大部分を占め大抵四五十羽宛の獲物を獲して歸つた汽車でいつた人は大抵京義線の一山驛に降りて此處から四散したがその顏觸れを擧げると總督府組は弓削學務課長が

▲先達となり　近頃銃に親しみ始めた澤田內務部一課長、林農商工部事務官の三人連れ、常連では和田ドクトル、澁谷高田商會出張所長の一行、京城電氣の小林君、朝鮮銀行の林君、それに鐵道側では肝腎の和田參事が安東縣へ庭球試合の應援に出掛けたので振はなかつたが、それでも局員の多くは一山に出掛けて其他の好獵家も申合せたやうに此處に落合ひ宛かも群雄雲の如く集まる觀があつたがその結果は弓削學務課長が群を拔いて成績がよく雉子、鶉を合せて

▲四十羽を獲　たのを殆んど初陣の澤田、林兩氏が各一羽宛擊ち止めたのも老練の弓削氏の四十羽に比して左程の遜色は無いといふ事である、和田ドクトルの組は和田さんが十五羽、澁谷さんが七羽、京電の小林さんが十五羽、孰も雉子を獲つて來た、鐵道の連中にも可なりの獲物があつたさうだ、同地から歸つた連中の話を聞くと雉子は少なくは無いが諸所に散在してゐる、そして孰れも

▲成長が充分　で無い雛雉子で散彈を浴びせるのは可愛相な位であるさうだ、永登浦附近には餘り多く往かなかつたがそれでも旭町の小林醫師の姿を認めたが獲物は鴨が十四五羽より無かつたといふ、此の外素砂附近に行つた人も可なりあつたが朝鮮銀行の三島理事なども其の一員で場所の選擇が惡るかつたのだらう散々の不獵で孤影悄然として空袋を提げて歸つて來たが歸來京仁線の列車の人となつた事は噯にも出さず

▲出陣を問は　れると昨日は獵にはエ、その——と言葉を濁してゐるのも狩獵家氣質の一端だらう、仙ほ軍浦場に行つた人も多少あり水色附近には瀧川銃砲店主が行つたが鴨十六七羽を獲たに過ぎず成績はよくなかつたさうだ、此の外に未だ隱れた功名家もあるだらうが此次ぎの日曜頃こそ油の乘つてくる事であらう

# 警戒線を破り
## 罰金卅圓

仁川新花水里七番地柳致常外十三名の鮮人は十數日間の交通遮斷に退屈したまゝ警戒中の警官の眼を掠まして警戒線を破り魚釣や野遊びに出掛けんとした處を押へられて各罰金三十圓に處せられ納入が出來ぬとあつて二十七日頃から晉三十に換へられて何れも青くなつて罷り退つたが警察署では今後交通禁止の日限が延期すればする程斯うした不心得漢が多くなると言ふので警戒を更に一層嚴重にするとの事

# 死亡屆は先づ警察署へ

京城府在住者の中より死亡者を出したる場合に於て從來は醫師の診斷書を添へ京城府に就き火葬場又は墓地の使用認可を得たる後更に所管警察署の許可を求むる順序なりしが一日午後鍾路署に開會したる防疫委員會の結果二日よりは其手續を正反對に最初所管警察署に屆出で其許可を待ち府に屆出で火葬場或は墓地の使用許可を得ることに變更なりたりと

# 露人欣慕し奉る
## 閑院宮殿下に列車中に扈從せる一官吏は感激しつゝ語りて曰く

今回日本皇帝陛下の深き御思召しを滯し遙々露都に向はせらるゝ道露大使閑院宮殿下を長春まで御出迎ひすると同時に滿洲里まで御見送り申上ぐるの光榮を得たるは小官の感激措く能はざる處である、宮殿下に拜謁して吾々が

▼第一に感動し　たるはその質朴に渡らせらるゝ中に犯すべからざる威嚴を有せらるゝ事である畏多けれど宮殿下の御樣子を備へ拜し奉るに今次の御旅行は日本皇帝陛下の思召と同樣の御意志を御包懷遊ばさるゝことはその御動作及び御言葉の間にも推し奉るを得て何共恐懼措く能はざる處である殊に我露國にありては我々微官の身を以て皇族方と御同車することさへ中々容易ならざるに宮殿下には

▼甚だ平民的に　在らせられ既に御食事の際の如きは第一日に於て御容顏を拜するを得ざりしも第二日以降は我々微官に至るまで末席に列するを御許可ありて御陪食の榮を得たるは無上の光榮として終生忘るべからざるものである斯る御威德ある宮殿下の御訪問を受けさせ給ふ我露國皇帝陛下の御喜びは如何ばかりであらう云々（哈爾賓）

# 朝鮮孝行少年

仁川新花水里二十三番地金永根の妻金氏（四〇）は先月二十七日虎列拉病に罹され同避病院に收容せられて居るが同人の長男金千蘭は未だ稚けない九歲の小兒なるにも拘らず係官の制止を背かず自ら進んで母の看護に勝り寢食を忘れて醫員及び看護婦等の注意を宜く守つて看護に勵めて居る相であるが係官や府吏員は何れも同人の心掛を感じ合つゝ有と

# 電車に觸る

二日午前六時過ぎ京城電氣株式會社六十七號電車が南大門より東大門方面に向け南大門通り三丁目青木堂前を進行中住所不詳の金昌成（二〇）といふが不意に線路を橫斷して車體に觸れ右肩胛部、前頭部、兩膝關節腰部等に打撲傷或は擦過傷を受けて人事不省に陷りたる騷ぎに本町署より係官出張取調べ同人は鍾路一丁目京城病院に送りて應急手當を加へしが尙昏睡狀態に陷り居れり

# 高左右氏全國を巡遊せん

民間飛行家高左右隆之氏は曩きに山東省革命軍の將領吳大洲の招聘に應じ自己考案のカーチス型復葉飛行機並に道般帝國飛行協會より二萬圓の懸賞金を受領せる問題の島津製ローン八十馬力

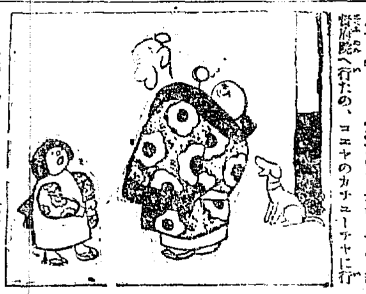
▲發動機を携へ　渡支せんとせしも機の陸揚げに就き支那官憲より故障出でし爲め果さず機は神戸の稅關倉庫に遺留したる儘同氏は大阪博勞町の假寓に引籠りて風雲觀望中なりしも革命軍の現狀並に周圍の事情に依り氏は渡支の無益なるを悟り玆に兼ての宿志なる國民全般に飛行思想を普及するの目的にて今後何等の後援を俟たず又報酬の多寡を論せず日本全國を雄飛せん事を思立ちし矢先き島津氏も折角懸賞當選のローン八十馬力發動機を何時迄も倉庫內に朽果てしむるに忍びずと是非氏に

▲試驗方を依託　したれば十月下旬天長節前の數日間を期し大阪城東練兵場に於て所有の飛行機に据付け試驗飛行を催し同時に大阪市郊外の某鐵工所主にして發動機に多大の趣味を有せる人と氏が此程來協力製作中なるホールスカット六十馬力新造物の試驗をもなし成績良好なれば前述の如く全國に活動して萎靡不振を極むる民間飛行界の爲め氣を吐く可しと（大阪支局）

# 抵當から訴訟

仁川栗木洞生れ京城慶雲洞居住の曹晟熟（三七）は大正元年冬頃慶雲洞金信一と旅館共同營業の目的にて其の家屋購入資金として金信一より金八百圓を預かり自己の金六百圓を加へて安國洞所在の李載觀なる者の所有家屋一棟を一千四百圓にて買受けたるに晟熟は借金あり右の家屋を抵當に提供したる爲め債權者に競賣に附せられ金信一は出資金の損害となりたるより晟熟を鍾路署に告訴せり

# ◇漫畫この頃



お婆さん『おさやん、あんた昨日お母はんと何處へお行きたんや？』おさやん『おたいナ、お母しやんと總督府醫院へ行たの、コエヤのカチユーシヤに行たの』お婆さん『まあ、おさやん怪體な娘やナ、カチユーシヤ違うやろ、豫防注射やろ』おさやん『噓ーお、お母しやんは鮮人とちがうわ』

# コレラ彙報

▲小學生と看守　大邱府に於ける虎疫發々猖獗を極め遂に內地人を侵すに至れり今其槪況を報せんに大邱監獄署看守近藤二次郎（三二）は卅日兵營敷地工事に使役しをる在監人監守を了ひ歸宅せしに烈しき吐瀉をなし檢鏡の結果眞正コレラと決定又鐵道官舍保坂武雄（九）は本年當二年生は三十日まで小學校へ通學しゐたるが同夜より發病疑似症と決定同時に團體登是が爲め大邱小學校は五日間休業するに至れり又交通遮斷し區域中にある公立大邱普通學校、公立壽昌學校、其他私立學校四孰れも無期休業をなし一方警察署は虎疫傳染經路を防止するの目的にて府內魚店に悉皆太刀魚販賣禁止を命せり朝鮮民報社は府內一般に虎疫豫防の注意せしむ可く路傍演說をなし警務部警察署員は全く不眠の活動をなしつゝあり（大邱支局）

▲僅に二名　仁川に於ける二日正午迄の虎疫發生數は僅かに二名に過ぎず

▲停留四千四百名　八月廿一日海港檢疫實施以來神仙臺檢疫所に收容せるもの累計四千四百十七名の內四千六十三名を解放し三百五十四名を停留し居れり

▲檢疫所の擴張　釜山海港檢疫所にては去月虎疫流行指定地擴張と共に漸次停留室の狹隘を告げたる爲め僅に四週間の短期日を以て木下元次郎請負急成工事續行中なりしが第一號舍九十五坪九月十八日第二號舍九十五坪九月廿六日第三號舍九十五坪九月廿八日第四號舍二百卅坪十月一日を以て全部引渡したれば同檢疫所にては今後五百名以上の停留を容收容する事を得れば之にて神仙臺檢疫所の狹隘を告ぐる事なかるべしと（釜山支局）

▲避難漁船中に發生　去る二十二三日頃播州赤穗より渡鮮せんとする途航中大波浪の爲め三十餘隻各避難せし事は既報の如くなるが同一團中早くも釜山漁港內に避難せし漁船中に三十日午後突然吐瀉下痢を催し神仙臺に停留せしめ檢便の結果眞正虎列拉と確定す然るに其後何れも其系統の漁水にあるが如く決して他より一時的に持ち運び來るものなければ當分の內は釜山港附近の海水は危險なれば一般港民は注意を要すべき事と云ふべし（釜山支局）

# ▽△帳場格子の前にて——
## 商賣いろ〱草紙　仲買になるまで

▽一步誤れば千仭の谷底——▽『一概にやなか〱言へませんや』——▽仁川の仲買は十二人定員の缺員二人——▽首尾よく拔いた人々——▽運命に翻弄されるとは此の事

『相場師ナンテ言ふ者は、恰度一本の丸木橋に登つて宙ブランになつて居る寶物を奪ひ合ふ樣な者で一步誤れば千仭の谿底へ轉げ落ちるし、うまく行けあ

▣九尺二間の　佗住居から一躍王侯を凌ぐ樣な分限者になれると言ふもんでさあ……』仁川の取引所で買ひに向つても賣に向つても放膽な取組振に市場の平調を攪亂し得る位の勢力を有つた仲買人の口さんは今後場の立會を終つて來た許りのセカ〱した態度で斯う言ひ乍ら煙草をひねつた……『仲買人が一人前になる迄の經路！其れや

▣千差萬別で　すよ小僧の內から此社界に居つて走り廻つた者もあれば、手振が思惑して儲けた者もあれば全くの素人から爲つた者もあるんだから、一槪にや言へませんが要するに一攫千金の夢に驅された連中が七轉び八起きの結果いつ迄も客となつて居るよりも、思惑專門の仲買人になつて見やうとか或は

▣口錢專門の　賢利的の仲買人にならうとか夫々の考へを有つてなるんです。仁川の仲買人ですか！仁川は十二人が制限で內二人は缺員で現在十人程ありますが其內ギアと崖れ落ちてから此の社界で育つて來た者はたつた二三人で他はみんな貿易商とか米穀商なぞの樣な素人か定期に手を出しての浮沈の

▣辛酸を嘗め　た後仲買人になつた者が多い樣です現に私にしましても貿易の方で少々失敗したのが無念で無念で堪らず何とかして損害丈けでも取り返してやらうと思つたが左前になると駄目な者で粒々辛苦の結果築き上げた財產は自棄反比の則で急轉直下する、此れぢや堪らぬと一面は臆へ切れぬ射倖心に煽られ一面は自暴自棄で

▣相場に手を　出すとトン〱拍子に巨萬の財產を贏つて了つて一夜の中に家族六人相攜へて裏町のオンドルに引越したんですが其當時の事を回顧すと實際人間の運命なんて風に翻弄される木の葉の樣に感ぜられますよ、其時計りは私も人生哲學とか言ふ者を沁々心に感じましたが扨て相場で一度か二度利喰でもすると急に

▣氣が大きく　なつて喰ふや喰はずの素寒貧でも寢ては金殿玉樓を夢み、起きては儼然として蓀閣商樓を圍む石門鐵柵を睨んでは『蔑つ俺だつて明日の後場に廿丁も飛上りやセセッシン式でもルネッサンス式でも金に飽せず大建築をして世の貧乏人を驚かしてやるんだ』なぞと虫のよい大平樂を並べた者でした。（仁川支局）

大入滿員御禮
大坂名代の老優市川市十郎歌舞伎大一座開演早々大入の滿員の盛況を呈し候段各位の御引立御情の賜と深く奉感謝候　取敢以紙上御禮申上候
京城　壽座

# 讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

△物は付『容易いものは』

〇廣告的の懸賞問題（一等）　島敎院本町　池田小太郎

▲居鉄の引越し　京城　狩郎

▲ポプラの移植　金泉　木下丸太郎

▲暗夜の火探し　京城　惠美子

▲河童の泳ぎ　京城　可瀨生

圖課題及び募集規定は欄外にあり


# 演藝案內

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　櫻井町　電話八七三　大正館
十月三日より特別興行　○伊太利ミラノ會社傑作　伊太利アルプスの大慘事○滑稽　M君の靴　△泰西活劇　波の上　全三卷　△尾上松之助一八番　命掛けの撮影　○新派活悲劇　二人の母　全四卷 [illegible]

黃金館　滿員續きの黃金館　◉見落す勿れ再び來らず
終編名金　六卷
天下一品奈良丸式活動寫眞　奈良勝の赤垣源造
連鎖劇　あこタッタ三日　小夜子　十月四日限り日延べなし

京城壽町　電話五七八番　壽座
二日目藝題　十八番の內　石川五右衛門　中　梅川兵衛長吉殺し　四まく　切　板額市若切腹

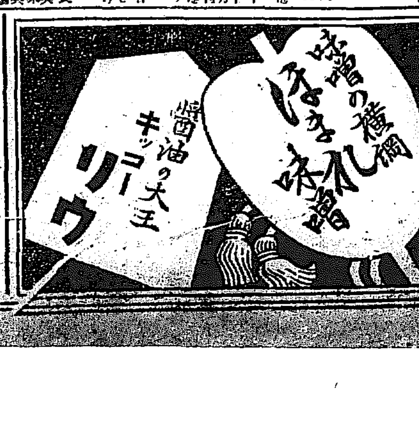
日本活動寫眞株式會社特約　本町一丁目　電話二六六　有樂館
二日目語り物　一御祝義寶之入船（昇玉、小昇）一加賀見山六ッ目ぞうり討之段（昇文）一昇六自石噺し七ッ目新吉原揚や之段（都昇）一忠臣藏六ッ目勘平切腹之段（呂昇）一阿波鳴戶八ッ目順禮歌之段（駒雛）一玉藻前三段目道春館之段（右昇）一勇佐倉の歸宗五郎子別れ之段（喜昇）一安達ケ原三段目袖萩祭文之段（東廣）一伊勢音頭油屋內之段（呂昇）一太功記十段目尼ケ崎之段

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店　パーク、シー一商會朝鮮一手代理店　電話一八五二（階上）二六三七（階下）　黃金館
九月二十七日より特別大興行　○大冒險大活劇終編　名金　六卷

御成町　電話一九一　御成座
▲朝鮮新派劇元祖　革新團林聖九　一行每日開演



寫眞
寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て最も迅速と叮嚀親切を旨とし御用命に應ず
京城日報社寫眞製版部

碑石廣告
惟ふに朝鮮人は各自祖先の墳墓に對して石碑を建立する者少なし又從來は年限を經たる墳墓は其の子孫代々に至り多く失ふ者多々あり玆に於て共同墓地實施以後には其墳墓地をも明確にし後に至りて失ふもの無からしめんが爲めには墓主の權限は永久に失はざるなり然るに今の墓地は無きもの等特に石碑を立てざれば新に碑石を要する時は表石及び碑石を製造し十圓より壹圓の物迄を以て販賣し御需めに應ず各位の御用命を乞ふ
京城西大門町二丁目八十二番地　碑石製造所



質　堀佐營業所
京城黃金町二丁目永樂町（停留所北入）
てんかん
ヒキツケ困る方で切手三錢送れ永年中の良藥を教ゆ　病は自宅でなをせる　名古屋市中區南小川町　救生館



血を見て頓死　扼して死亡してる處を直に安城署より……地人は與業會社員島塚啓藏と云ふ者……多分疑似ならんと


村嶋與、金村寛、宮下……、內山要太郎、椋保稔……本宮明、石村幸作、伊……

讀者文藝課題及募集規程
■募集規程　▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚每に紙上の雅號又は匿名

天氣　ハ　晴れ　▲十月三日
日出　六時十三分　日入　五時五十九分

# 東宮殿下御寫眞御下附

## 中學以上の學校に

各學校に於て十一月三日立太子式奉祝式典擧行に際し全國小學校は教育勅語捧讀君が代奉唱校長の立太子に關する講話及び奉祝歌奉唱にて式を了る趣なるが學習院に於ては畏くも御下附ありたる皇太子殿下の御寫眞に對し奉拜を爲し一層同式典を莊重にする事に決定せり右に付き東宮職に於て聞くに元來皇太子殿下の御寫眞は官公立專門學校を始め各府縣立中學校にても願出である向きには下賜せらるべき規程になり居れば今回の式典に際し御下附を願出づる向きもあるべけれど最早時日も迫りたる今日火急に多數の願出あるとも當日迄に御下附の運びに至るはむづかしかるべしと

## ◉矢野教諭の遺言

仁川女學校教諭矢野なほ子氏は姙娠中虎列拉の爲めに二十九日とう〳〵逝くなられましたが、いよ〳〵其の最後の日に吐瀉や下痢した後の衰へた息の下から『忌はしい傳染病に冒されて皆様に御心配をかけて誠に申譯がありません』と醫者や看護婦に厚く禮を述べて『どうぞ私の死んだ後二十圓を防疫費の中へ寄附して下さる様お願ひ致します』と言つて哀れや三十二歳を一期に黄泉に逝かれた相でありますが死に行く際迄斯うした床しい心掛けであつた事を聞き傳へて何れも哭かぬ人はありませんでした殊に先生の薫陶を受けた生徒達はみんな聲を立てゝ泣き悲しんだ相であります

## ハーンドクトルの書束

――京城日報の夕刊拜見致しました、勤勉なる日本醫學生に對した私の少しばかりの補助に對して餘りに大なる賞讃を與へられたのは却て恐入ります、私は將來まだ澤山此の様な事をしたいと思つて居ます、實際 私は日本及び日本人の讚美者の一人です、私は日本人中に多くの親友を持つ事を傲としてます……

京城高等女學校生徒の健康診斷

## ◇スノードロップの作り方

これは極く愛らしい球根草花です。和名を雪の雫と云うて花はその名の様に純白の誠に愛らしい花ですから昔から面白い物語をたくさんもつて居ります。此の花を前に述べた、チューリツプやヒヤシンスと異つてなるべく半陰で

△濕り勝ちな所を好みますですから、その様な所を選んで、植込む十日ばかり以前に、よく耕して土を細かくし油粕や充分腐敗した腐葉土などを混せて花壇を造り、九月末から十月中に、深さ一寸、距離二寸位に植ゑ込んで置けば、まだ花壇にあまり花を見る事の出來ない二月の頃、凍り上つた園の上に、雪の塊の様な消い愛らしい花を見る事が出來ます。又た此の様な日本式の庭園の岩間などに植ゑるにも適して居ります、その外鉢植にする事も出來ます、即ち十月の頃

△小さな土鉢へ三球位づゝ植て戸外に置き芽が出るまでは小量の水を與へ芽が出たならばかなり水を與へて半陰の所に置けばやはり二月頃には開花するから机上の飾りなどゝして愛すべきものですスノードロップは植替を好まないから、植替をしなくてよい様な方法をとらねばなりません。そして

△他の球根類と同じ様に、植込んでから肥料を施すと球が腐敗する恐れがあるから、植ゑ付前に土を肥やして置かなければなりませぬ

# ◉市内の小川でものを洗ふことはならぬ

一日午後七時より鍾路警察署樓上に於て京城防疫委員會を開き警務部より隈部警務部長以下衛生係三名、警務總監部の衛生課より原技師外一名其他府内各警察署長、憲兵分隊長及び防疫係の醫師約十名參集同夜十二時過ぎ迄種々協議する所ありしが其結果十月三日より京城府内の小川又は溝渠にては蔬菜（食物）及び飲食用器具一切の洗滌を禁止することゝなり野菜類の如きは全部土附きの儘賣買することを實行せしめ、需用者に於て買ひ取りたる上洗ふことゝなせり 尚虎疫患者の發見を最早くする方案として病死者の屍體檢案をなすことゝなるべく近く警務部令を以て發布實施の運びに至るべし

## 番茶のあと

朔日の南大門驛は近來まれな遊山客を見た△京釜線の客は主に水原驛から安養驛あたりの栗拾ひに出かける者が多く△京元線のお客は主に清涼里あたりから金谷、東豆川、議政府あたりの栗拾ひや茸狩に出かけた△京元線から五時十分著の列車で歸つた人のはなしでは茸はあつたが栗はまだ早いとのこと△これからの日曜は朝の九時に出掛けて夕方の列車で歸ればゆつくり一日の清遊を樂しむことが能きる△紅葉もそろ〳〵紅に染まる頃である

## だいどころ その日〳〵

□澤のしも 上等の白玉粉を水にてこれかためて茶立つ湯に入れて浮き上るまで湯出湯をすつかりすたみ捨て鉢子の如きものにてつゝきこらしながら弱き火にかけて揃りほぐし白玉粉百目に付上砂糖二百目の割りにて二百目の砂糖を五六回に揉り込み片栗粉の上に取り上げて棗わんなつゝみ小高く丸めて上部をぬれ布巾にてぬぐいザラメ糖をまぶしつける（砂糖を揉込む時に食用の青粉を少し入れて水色位に染め色す）（青木はつ子）

## 神社とお寺と教會

◉國柱會京城局（初音町）一日午後一時より伊東講師の式長野中局長の式監の下に本局新築一週年記念式典を擧行し夫れより講師は『信仰と吾人の覺悟に就て』金澤郎、荒川の兩氏は『所感』の下に藤井玄對氏は『精神病者に對つて日蓮主義の注射を施せ』の題下に何れも熱心なる講演後懇親會となり懇親店が開かれるやら福引があるやらして萬歳を三唱して散會したのは六時で多數の參拜者があつて非常なる盛會であつた

○西本願寺（若草町）二日午後七時半より月例講演あり講師は光岡、三浦兩師學生なり

○開教院（本町三）二日午後七時より開教區會を催す由

## ◉列車給仕募集

朝鮮鐵道局では此程列車給仕を募集します、年齢は十五歳以上十七八歳までの容姿整ひたる人にて京城に保見人を有する人に限ります、希望者は南大門驛長の許まで申込のこと

◉太平生命の豫防注射 仁川海岸町三丁目太平生命保險會社仁川代理店三巴商店にては同社被保險者及び其家族に對し一日より當分の間宮町松本病院に於て午前十時より午後四時迄無料にて虎列拉豫防注射をなし被保險者以外の希望者に對しても代理店より注射施行劵を贈呈する由

# 宮本武藏

第百七十六回 桃川如燕口演 浪上義三郎速記

ゝ本武藏を初め山田並木の人々、槍を並べ今品川と川崎の手前六郷の松並木へ差懸つて來ると向ふの並木の蔭に白地に黒く丸に一文字の打つたる旗を押立て人數百七八十人控へて居る何人なるかと武藏馬を進めて近付くと途端、右の人數眞一文字に備を立て行手を遮ぎつた 武『何人なれば道を塞ぎ給ふぞ、拙者は細川の家中にて候道を開いて通し給へ』といふ間もなく備の中より馬を乘出したる一騎『○何者にもあれ此所を通す譯にはならん、殊に細川の家來とあれば尚更一人も通行は許さんに依つて左様心得ろ 武『之は奇怪なる一言かな天下の往來、街道を塞ぐ理由はなし何者なるか名乘れ〳〵 ○『默れ拙者は黒田の藩中多胡内藏助なるぞ此所を強て通らんと申さば鐵砲にて打留めるが如何だ 武『さりとは無法なる一言汝何の意恨あつて我々を妨げる理由を申せ』此時又一騎備より進んで ○『理由は拙者が申聞せる、宮本拙者の面を見ろ』と笠擦投り捨てた面體武藏ヒヨイと見ると別人ならん一橋如見齋 武『ヤア汝は一橋如見齋 如『黒田家の老臣多胡殿の馬前を乘切らんとする無禮者、ソレ方々容赦なく討取と上げてしまひなさい』ともいふ大將意に依り天草一揆鎮定のため御歸國の途中であります、尤も島津家は城攻には加はらなかつたが用意のため歸國を命ぜられましたので、今六郷まで來ると何か騒ぎのある様子、取鎭めよとあつて此所へ乘込んで來た、島津家の旗を見ると流石の多胡の同勢も恐ろいて忽ち中に八方へ散亂して了つた島津家の威勢は亦別段、武藏も踏破るのは容易いが大事の道中に殺生でもしては跡々が面倒と思つて大きに弱つた所、島津家の御同勢が來たつて對手が散亂したのを見て大に喜んで、島津家の先手の人に會つて一禮を述べ此處を馳通りまして奈神川の本陣へ到著し、先著の人々に對面いたしました、さて間もなく島津家にも此神奈川の本陣へ御到著になり、細川家の重立たる人々等に太守お會になり、宮本も御目通りいたしました、家久侯は至つて風流な人で 家『其方が宮本か、武名は豫て承はつて居る、予が家久ぢや凱陣いたしたならば予の屋敷へも參るやう 武『有難き仕合せ 家『其方は文事も疎からぬとか、予が今所持して居る古今集の中伊勢の歌『難波なる長柄の橋もつくるなり今は此身を何にたとへむ』此歌に二様の意を含んで居るとの事ぢや、歌人に就いて尋ねるが滿足なる解釋を與へぬ、之れを其方に授けるに依つて解釋を致して呉れ 武『仲々以つて私如き淺學の及ぶ所にこれなく 家『イヤ爾うでない、之れを其方に遣はす』と仰せられて古今集を武藏に下された、正名有難く頂戴して退出いたしましたが此古今集を懐中して九州に赴き陣中に於て之れを繙といて篝火の光で讀んだといふ風流な話がある、武藏が古今集の歌を町宿に解釋して後に島津侯へ献上したのを古今集一夕話と言ふ此書は散逸して今は傳はりません、さて武藏無事に九州地へ著しまして一旦熊本に入り更に太守に隨つて島原へ赴むきましたが實に細川の威風といふものは別段、總勢二萬三千五百餘人白地に九曜の星の紋打たる旗海風に翻へし金三段角取紙の大纒を押立て、軍監長岡監物、忠庵の兩人軍令嚴かに隊伍を亂さず、四邊を拂つて原山の攻口へ乘込んで參りました、黒田右衛門佐忠之侯に於ても御舍弟甲斐守長興、同市正隆政、軍監黒田美作號睡鷗を初め同勢一萬八千人を率ひ御著陣に相成り、其外寺澤兵庫頭、松倉長門守を初め持場々々を嚴重に固め島原城下尺寸の地もなきまでに取詰めました

## 會員大募集

◉京城雜誌廻讀會

廻讀冊數は毎月隨意六冊とす 本會會費は一ケ月僅かに金參拾五錢 申込所 南山町三の二九（幼稚園上） 本會外交員兼配達人たりし田中定助は今後本會と一切無關係に付此段會員諸君に急告仕り候

十月四日九星 西 九月八日 甲戌 木命 五黄 八方除 佛滅

▲五黄● 依估贔負の事有日新事見合南方は吉 剣なし▲六白● 廿んなる日轉居入學命談名弘求職棟上蹴郭取輸出業等皆吉▲七赤● 旭日昇天の日轉居入學命件名弘建築求職婚禮土工請負等皆吉▲八白● 頼まれ難義の事有る日新事手控へ事は吉一切のせわ事を禁ず▲九紫● 盛大の日轉居行商入學名弘求職探鑛婚禮台数命融薬等吉▲一白● 譯のわからぬ事有る日新事手控へ事は吉新取引は用心の事▲二黒● はんまな事有る日新事手控へ事は吉買物に用心せらるべし▲三碧● 癪にさわる事有日新事手控へ事は吉爭を防がるべし▲四緑● 水臭き事有る日新事手控へ事は吉婦人のせわを致す勿れ

# 商況

## 東京株式特電

（前場・後場の比較、大引）

## 東京債券現物特電

二日出來値段（前日との比較）

## 東京公債直取引特電

二日出來値段（前日との比較）

## 深川在米特電

二日現在高 一九、三九六 一九、三〇二 一、四五二 九七、九〇

## 東京期米特電

十一月限 四〇、九九 四一、〇六 四〇、九九 四〇、九九 後場

## 大阪株式特電

前場・後場

## 大阪三品特電

## 大阪期米特電

## 下關期米特電

二日前場 新甫十一錢乃至二十錢上鞘見當

## 雜報

## ◉牛皮は浮足

## 盆皮出廻り最盛期

## 十圓内外を標準に大阪相場八

## ◉粗布更に新高値

## 二圓の値上と健値百五十五圓

## ◉仁川檢米成績

## 圓二十處

## ◉五倍子は不引合

## 素人筋に思惑

## 金巾の相場低落

## ◉細布は不振

## 取合勝の大景氣 五圓七八十錢

## 圓十錢 八圓乃至八

## 上海より輸入せる晒

確實 仁川海岸町 取引所仲買人

迅速 （定期米買賣案内 御報次第送呈） 電話一六五番 六三二番

## ◉仁川在庫穀物

## ◉亞鉛板更に强し 夕々五錢高

## 浪板八尺物

## 京城正米

## 約二十錢

## 京城雜穀

大豆は仁川の安氣配なるに反し當地は品薄の爲め堅調にして目下粿の九圓唱へなり新小豆は出盛十四圓程度の物漸次出廻りつゝあるに連れ昨今十一圓見當にて綠豆も同じく成行きなり新胡麻は十三圓内外其他小麥は不賣粿麥は行詰り模樣なり

## 南大門の廻穀

一日分 水原玄米 四二叺 仁川玄米 七〇〇叺 黒褐粿麥 二九叺 鳥山白米 五四叺 鳥致院粿 二五叺 鐵原小麥 二六叺

二日分 金泉玄米 二九八叺 天安白米 一三九叺 天安大麥 六二叺 仁川玄米 三五一叺 平澤玄米 一八九叺 鳥山玄米 二八叺 鳥山白米 一三叺 鳥山大麥 一九叺 鳥致院胡麻 四五叺 大邱大豆 四三叺 平壤綠豆 一三叺

中和粟 一七叺 中和粿麥 二五叺 水原白米 七三叺 鳥致院胡麻 三〇叺 黃州粿麥 四五叺 黃州粿 六〇叺 鐵原白米 二五叺 水原白米 二三叺 水原小麥 一七叺 水原白米 六九叺 倭館玄米 二〇叺 金泉玄米 二〇三叺 金泉玄米 一〇三叺 水原白米 四二叺 力浦黍 四〇叺 平壤粿麥 七八叺

## 仁川現物市場

△籾入津なし △正米入津なし氣配は保合を唱へ居れり △小麥入津なし

## 釜山穀物市場 三十日

▲正米（保合）

## 仁川期米

新 玄米 三百廿三個 大豆 一千百十九個 總出來高 一千百四十二個

## 一日前場 大阪天候小雨

## 十九錢高新甫 十九錢上鞘の十四

## 圓四十六錢の入電

## 二節卅九錢と安移り

## 新甫六十一錢大

## 下鞘の十一圓九十

## 錢丁度と發會

## 市場零聞

## ▲新甫發會す

## 仁川米豆取引所

二日の十二月限

| | 寄付 | 止め値 | 高値 | 安値 | 出來 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前場 | 十一圓九十錢 | 十一圓八十二錢 | 十一圓九十五錢 | 十一圓八十錢 | 二萬四千九百石 |

平均値段 一節 十一圓八十八錢 二節 十一圓八十三錢 三節 十一圓八十一錢 四節 十一圓八十一錢 五節 十一圓八十二錢

賣買取組高 十月限 十一月限 十二月限 三十日前場 一二、五二〇 一二、四九〇 一二、四二〇 前日と比較

## ▲全能く賣る

## ㋑能く賣る

## △能く賣る

## 成行寧ろ底强し

## ▲中限動かず

## ▲發會は不勢

## ▲新甫の手振

## 反動中限に對し割高思ひ

## 瓦落餘勢八十錢丁度

## ▲巨能く買ふ

## ▲今能く買ふ

## ▲第二回豫想

## 五千六百七十萬石

## ▲在米減少す

## ▲人氣は氣迷

## ▲取組高減少

[illegible]

# 十月三日と

◀學者の創製したる▶

# 美顔ユーマー

## ▲美顔ユーマーの

## 光榮燿く紀念の日を迎へて

各宮家御用、美容術大家、マリー、ルウ井ズ孃より

### 高貴の御料に奉るべきにつき謹製して上進あれ

……この有難き御命に接しましたのは昨年の今月今日……十月三日でありました。これより先き、美顔白粉が御料に召されて御滿足を博して以來、桃谷研究試驗部に御信用を賜はる事彌々厚く、更に美顔ユーマーを御試驗の結果、日本に於る最善最良の化粧液と撰定せられ、特に此日御用命を賜はつたのであります。果然御思召に適ひました美顔ユーマーは、爾來引續き高貴の御料に召されるやうになつたのであります。光榮身に餘る此日を迎へ本舖は更めて御禮の意を表し本品愛用家の御幸福を祈ります

▲尚、美顔ユーマーと共に御料に召さるゝ桃谷研究試驗部謹製品次の如し

美顔白粉　白色美顔水　美顔水　美顔石鹼　美顔洗粉
美顔クリーム　固煉美顔白粉　肌色美顔白粉　淡紅色美顔白粉　淡紅色美顔水
粉製美顔白粉(純白色、肌色、淡紅色)　アンストランチヤン　レークリーム　ブリヤンチンクリーム
ポマード　香油　黛(粉製煉製)　齒磨粉　洗髮粉
洗髮液　口紅　頬紅　爪磨液　香水各種

▲朝使へば一日中顔色を活々と美くしく保つ新化粧液▼

東陽

2575.150.10

■名譽ある美顔ユーマーを始め各種化粧品を創製したる

**桃谷研究試驗部**

▲顧問
藥學博士　丹波敬三氏
醫學博士　山木淳二氏

▲主任
藥學士　桃谷幹次郎

▲主任
千葉藥學士　小磯勝次郎
千葉藥學士　齋藤銑助

第三(號) 京城日報
三日朝刊 夕刊と合せて二十頁
(年中無休刊)(明治四十二年九月十八日 第三種郵便物認可)(火曜日) THE KEIJO NIPPO 大正五年十月三日 (一)

本紙定價 一ヶ月金五拾五錢 郵稅共三ヶ月一圓九拾錢 郵稅(代用二割增)
廣告料 ▲五號活字一行金壹圓 ▲三號活字同 ▲雜 ...
發行兼編輯人 奥田直之介 印刷人 小川三之
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話(編輯)(營業) ... 振替貯金口座京城二〇〇

## 支那の形勢

京城日報

支那新總統其職に就き、國會を開いて憲法制定其他の事に從はむとす即ち是れ舉國一致、憲政の規模を立るに務むべきの時なるに拘はらず、南北交々相爭うて已まず、武人派と革命黨とは、常に相軋轢するといふ有樣にて、其前途甚だ懸念すべきものあり。

其後の支那形勢を見るに支那の今日の急務は、其財政の基礎を確立するにありと爲し、支那人民舉國一致新政權確立を圖るの實を示さば、關係五國の援助を得ると亦難からざることを說きたり。然れども五國に財政上の援助を得るは、支那人民舉國一致の實あるを以て、其前提と爲さゞる可らずして、今日の如く國內四分五裂紛擾を極むるの爲體にては、五國亦其財政上の、援助を與ふるに由なかるべきなり。

今日支那に於ける難問題の一とも云ふべきは、興亞公司借款の始末なり、同借款は支那政府が一千萬磅の大借款成立するまでの間、焦眉の急を濟ふの必要ありと爲し、我興亞公司より五百萬圓を借入れたるものにして、其條件として、水口亞鉛鑛大平府鐵鑛を日支合辦と爲すことを約束したり、然るに支那國會は其の協贊を經ずして起債せることを非難し、湖南省官民は共に其の同省に關する財產にして、中央政府の專斷に處理すべきものにあらざることを攻擊し、四國財團亦其政治借款特占權を侵害せりと爲し、異議を唱ふるといふ有樣にて、北京政府は其抗爭に堪へず、遂に借款條件改訂を圖るに至りと云ふ、新條件の何ものたるは未だ確定せざれども、支那政府は制錢買收及び鑄貨所設立の事を以て之に擬せんとするものゝ如し、併しながら、制錢買收の如きは、最も反對を招き易き事柄なれば、此の新條件も恐らくは非難攻擊の爲めに破却せらるべく、結局支那借款は不結果に終らざるべからず。

而して此興亞公司借款すら不結果に終りたりとせば、其所謂一千萬磅大借款なるものは、殆ど成立の望なかるべきなり、今日支那に資金を提供するものは、何れも相當の擔保を要求せざるはなかるべし、剩へ政治借款なる以上は、何等か支那の政務に關與することなきを得ず、然るに支那人は則ち事毎に之を取りて、黨同伐異の資と爲し、互に相毀壞して以て消極の術を得たりと爲す小借款の不結果なること、大借款亦不結果に終るべきことを推測し得べきなり。

支那人由來甚だ爭を好む、彼等は爭ふ爲めに爭ふものにして、爭はざるべからずして爭ふにあらず、然れども其爭や、專ら言語を相鬪はし、形勢を相競ふに止りて、最後の歸結を見ることなきを以て、其紛擾際限なし、今日新たなる憲政を建造せざるべからざる時に當りて、此固態を改むるを知らず、是れ其の事物雕飾して、失敗に失敗を重ぬる所以なり、我日本は支那の友邦なり、支那人をして其過を寡くせしめむと欲せば、勉めて其紛爭の種子を蒔かざるにあり、吾人の平生主張するところの對支外交の本義亦此にあり。

## 朝鮮の古城郭(六)

八木奘三郎

### (二)城郭の位置

(承前)民堡の記事は別に申觀浩の民堡輯說なるものあれども、其位置の可否は矢張り丁說を採れり、去れば朝鮮に於て城郭關係の位置を論せしものは他に之れなかる可し、而して此說主として堡を說けども、實は一般の城郭に應用す可きものなれば此意見は以て朝鮮城郭得失論と稱すべし。

するを得可し、今其議する所を見るに可とするもの否とするもの倶に李朝時代の城郭に見る所にして、古來の得失を指せしにあらざれば實用若くは軍學上の參考書と見るの外大益なし、而して他に古城郭を論せしものは慵齋叢話に短篇あり、曰く、

扶餘は百濟の都する所なり、炭峴の內、半月城甚狹宛然たり、白馬を以て壍と爲すと雖も、狹窄淺露王者の居に非ず、蘇定方以て之を滅すを得たり。

扶餘城を目して狹窄淺露と云ふは寧ろ偏見なり、彼の東門の外郭より左右に延びたる範圍內は頗る廣濶にして當時王者の居城たるに恥ざるものなり、而も慵齋は此外郭を見ずして內部の本丸たる村落上の殘壘を以て城址の全部と推せしにはあらざるか而して蘇定方以て之を滅すを得たりと云ふも古來軍學家の說に、城郭は如何に堅牢無比、金城湯池と稱するものも必ず陷落す可きものなりと云へり、而して籠城の効を奏す可きは他に援兵ありて連絡を通じ、又敵に糧盡き、變を生ずる場合に限ると云へり●斯は恐らく適中の言なる可し今是等の點を論ずるは問題外なれば措て曰はず、先づ其位置に就て古人の觀察せし一二の例を云ふ可し。

高句麗本記に曰く。

始祖は東明聖王、姓は高氏、諱は朱蒙、是より先、扶餘王解夫婁老て子なし、山川を祭て嗣を求む、其御する所の馬、鯤淵に至り、大石を見て相對して淚を流す、王之を怪み、人をして其石を轉せしむ、小兒有り、金色の蛙形なり、王喜で曰く、此乃ち天我に令胤を賚すかと、乃ち收て之を養ふ、名けて金蛙と曰ふ、其長ずるに及んで立て太子と爲す、其相阿蘭弗曰く、日者天我に降て曰く、將に吾が子孫をして國を此に立てしめんとす汝其れ之を避けよ、東海の濱に地有り、號して迦葉原と曰ふ、土壤膏腴、五穀に宜し、都す可きなりと、阿蘭弗遂に王に勸めて都を彼に移し、國を東扶餘と號す。

## 蒙人の反支熱

蒙古の內部に支那人に對する反感情の年と共に增大しつゝあるは事實にして鄭家屯附近より白音太來若くは洮南方面に住する蒙古人の一部は支那民族の蒙古侵入と共にその勢力に壓迫され彼の熟蒙古人の如きは殆んど支那化し居るも彼等とて裏心より支那に悅服し居るにあらず

△內蒙各盟旗王公の內には自己の立場より支那に秋波を寄する者あり或は奉天將軍等の懷柔策に軟化し其の樂籠中のものとなれる向もあれど大體において重なる王公も蒙古人も決して支那には心服し居らず外蒙古が露國の勢力の下に自治を宣言したる如く內蒙古も支那の羈絆より脫し支那民族の壓迫を排除せんと欲するの希望を有し彼の

△巴布札布の如き即ち此宗社黨の多數蒙人の意思を代表して宗社黨と共に蒙民の宿志を貫徹せんと計りたるものなるが事失敗に終り恨を呑んで退却するの餘儀なき始末となりたるより蒙人中多少の思慮智識を有するものは頗る之を遺憾とし重なる宗社黨の面々も亦その志において一致する所あり勞々宗社黨と是等蒙古人との關係は

△此次の計畫失敗に終りたるにも拘らず猶陰陰に氣脈聲息を通じて捲土重來の計を廻らしつゝある形跡あり張奉天督軍は早くも之を看破し吉林黑龍兩將軍と知照交涉の上北京の政府に對し(一)內蒙古各王公懷柔策の必要(二)其の方法(三)蒙古鎭守使急設の件(四)支那民族の移住奬勵並びに其の墾耕方法(五)支蒙人融和の手段等につき

△詳細なる意見を陳述しつゝある方宗社黨一派と氣脈を通じ蒙古王公及び蒙人に對し此際威力的壓迫を加ふるの必要ありと述べ現に其の討伐法につき種々劃策中なりとの說あり內蒙古の硬派分子が果して支那の爲めに懷柔せられ又は壓迫せられ終はるかは今後注意すべき問題にして將來の程は今遽かに言ひ難きも●蒙古人間に●反支感情の●益々高まり來れる事●と●奉天督軍等が●之がため內●蒙經紀策●につき苦心中なるは事實に●して近き日に●或は何等かの事變發生●するなきを保し難しと最近內蒙方面より歸來せる客は語れり(大連)

## 大阪より

青霞生

### ▽生ける教訓の好材料

記者は頃日乃木神社に詣でたるが社を出で少しく南し鐵道線路の橋を渡れば一宇の小屋あり、これ乃木將軍少年時代思出多き長府の舊邸なり同邸は去る明治十七年將軍上京して以來影をも留めずなりしも殉死の後竹馬の友桂彌一氏等相計り將軍自筆の圖面により一族知黨の人に頒して邸地に記念館を設けしが更に之と同型のものをこゝに建築せしものにて將軍少年時代の實景を正確に髣髴出したるものなり建家は僅に八坪二合五勺にして六疊三疊と押入土間小庇あるのみ此一棟の構造は當時の門長屋を其のまゝ住居に用ゐたるものにて二個の武者窓あり、武者窓の上には二本の槍と薙刀を掲ぐ、槍は父十郎氏薙刀は母壽子の手綠の遺物其他刀弓矢陣笠籠其延機刀掛本箱机など何れも當時の實景にて端午の圖六曲小屏風は將軍誕生の歲狩野芳崖が畫きて乃木家へ祝贈したる飯茶の(模寫)ものなりと座敷の中央上座に構へて嚴格なる父十郎(五)氏下座に隔たりて靜かに坐せるは母壽子(三)其間に行儀正しく父に對坐しやゝ首を垂れて篤き敎訓を乘け居るは十四歲の希典氏三個共等身の塑像にて將軍の朋長谷川榮作氏の作なり)十郎氏は家庭に重きを置きて忠臣義士の言行など凡そ模範とすべきものは擧けて敎訓したりと將軍の如き偉人の出づる故なきにあらず、然して室內の天井の取附けなし、却て之れを使こし家根裏に綱車を附け夜具雜品を大風呂敷に包み納めて必要の時上下せしものなりと、籠、鍋釜、流し下、日用品の一々も悉く訓誨の種ならざるはなく臺所の挽臼及びその臓腑並に操跡(木盆)など人目を惹く、これは將子が家の貧困を救ふべき內職の賤餅及び砧卷(煎菓子)の製造に使用せし道具にて將軍もまたこの石臼を挽きたり殊に目立てるは屋外小庇の下に据ゑたる一臺の足踏臼にしてこれは將軍が踏みて米麥を搗げたるもの細縄を以て吊したる一枚の小板は將軍が諳誦の見臺にして少年時代此足踏臼を踏みながら小板の見臺に依て讀書に耽りたる狀見るが如く自ら感嘆の聲を發す、此外庭上の柿の樹は將軍が防風のため手植せしものと往時を語り屋形もなき古井に將軍が父母の沐浴の爲めに撥釣瓶を操りたる當時を偲ぶべしまことに生ける敎訓の好材料なり學生の參觀はよき實物敎育なり目下南隣に村野山人氏邸の建築中なり、氏が富貴を捨てゝこゝに起臥して將軍の神廟に奉仕せんとする堪慨淘に美むべく、故人の感化この高潔なる村野氏夫妻を出せる又生きたる敎育的好記念なり、歸途大將の一代を偲びて武人鏡を好む近時の我國情を慨せざる能はざりき予は生きたる敎訓として乃木神社に參詣將軍長府の舊邸參觀を切に世人に慫慂するものなり(支局にて記)

## 日報詩壇

○曹溪禪房小集　古城　海溪

趁前尋僧去。山門一逕通。禪天如是淨。否腹本來空。擲水虎溪月。焚香逆社風。閑雲時出沒。樹影入簾櫳。

評曰、地非俗境、詩亦入悟境。

○松陰讀書　望月　桂軒

松陰苦地現華清。颯爽龍啼吼太虛。興到和來聲朗朗。有人趺坐讀何書。

評曰　評中有動

○江亭即事　西田　白陰

十里長江夕照紅。倚看山角月如弓。滿亭涼氣來何處。興在清醇半醉中。

評曰　靜氣生動

玉泉 青龍泉 新義州より車で三十分

會員募集
十月九日ヨリ新學期開始ニ付キ志望者ハ速ニ申出ラルベシ入用者ハ郵券貳錢送附ヲ要ス
規則書入用者ハ
大正五年十月一日
京城大和町一丁目
東洋協會植民專門學校京城分校
附屬 朝鮮語講習會

故市原盛宏君記念會
來ル十月四日故市原盛宏君一周年相當ニ付午後五時本町鐘路基督敎靑年會ニ於テ記念會相催候間此段同君生前知友諸君ニ謹告候也
大正五年十月三日
發起人總代 水越理庸

見よ海外輸出品として最も有利なる此の製產業を
店頭の廣告と學藝博覽會に大喝釆を博し得らるゝ!!
特許局技師 法學博士 阪田貞一先生序 早大工學士 入船勝治著
忽四版 誰にもできる 電氣玩具製作法(おもちや)
內容數例…◎電氣ゴマ◎電氣ボート◎電氣舞子◎電氣門戸用閉器◎體操人形◎廻轉タマゴ…其他我が國及び歐米諸國の諸學者の諸種電氣玩具製作上秘密に附せらるゝもの二百數十種を披瀝して世人の最も不可思議とせる電氣大魔術及び大發明の例を讀者に提供す最好珍書也兒童も父兄敎育者實務家商人も必讀を要す
菊判 四六判 總クロス 四百頁 精巧〇挿圖 數十種
定價 壹圓五十錢 郵稅八錢
忽四版 誰にもできる 小型發電機製作及其取扱法
發電機は電流の源にして諸種の電氣用具凡ての電氣事業悉く是より胚胎す之により家庭の點火教育實驗用より勿論自轉車入力車自動車用、及モートル使用、鐵道1/2馬力乃至1/20馬力の小型發電機を出し得故にミシン扇風機に應用し又一般電機と相俟ちて蓄電池の使用
定價 金壹圓 送料八錢
發兌 東京神田表神保町 大日本研究會 振替東京二七〇番 東京堂書店 賣捌

創刊以來每號如湧の大好評
大陸婦人界
讀め內容健實なる大陸婦人界十月號
絢爛花かなる大陸婦人界十月號
結婚の標準…女子高等師範學校長 太田秀穗 ■無責任なる出歩るき…高等法院長 渡邊暢
大陸在住の日本婦人へ…內務大臣 法學博士 一木喜德郞
迫り來たる驚くべき恐ろしき…
彩や幻を趁ふ女よ…早稻田大學教授 田中王堂 ■美人觀…東京女學校長 湯原元一
小兒と添寢の利害…醫學博士 芳賀榮次郎 ■結婚…女學校長 成田忠良
女は家庭の道具でない…女子大學校長 成瀨仁藏 ■東京の秋…森安貞子
殖民地に於ける女子教育…大陸婦人社長 牧山耕藏 ■福井の秋…金谷安子
來るべき女の職業問題…慶應大學教授 鎌田榮吉 ■信濃の秋…城りち子
家庭と子供の教育…女子大學教授 高島平三郎 ■宮城の秋…石森朝顏
子福者の家庭…(飯泉敎太氏の家庭)(有賀光豐氏の家庭) ■高原の秋…岩本姫路
家庭訪問の記 ○令孃通信…(石塚君子孃)(一ノ瀨三保子孃) ■總房の秋…角田ひろし
○或女の秘記…郎葉 ■お嫁…李王職 大宮小宮三保松
食時九思…讀者文藝 女子口數…虎疫豫防 ■家庭料理…(櫻井ちか子) ■私達…婦人記者
女敎師…京子 ■男子にも貞操を要求す…磯野花江 ■結婚非認の論者に與ふ…落野愛二
女の辯護士に…工藤法學士 ■家庭と神棚…大塚次郎 ■郵便ポスト
購讀申込所 京城太平通 大陸婦人界社 (電話一〇七〇番)(振替京城二〇〇番)
一冊金十五錢 一ヶ年分前金一圓四十錢 郵稅共 各地書店にあり

好評再版
行政裁判所評定官 法學士 關口健一郎先生著
改正所得稅法要義
菊判洋裝全一冊 定價金一圓二十錢 送料金十二錢
所得稅法は愈々朝鮮に施行せらる、此際納稅義務者も稅務吏員も充分斯法の規定を會得して手續に過誤無きを期せざるべからず。本書は現行所得稅法に就て詳說せられたる唯一の指針として、既に好評の嘖々たる所記述懇切文章明快を極む。斯界無比の良著たり
京城本町二丁目(振替京城二四五四)發兌 日韓書房 松堂京城店發賣

日本パイン万年ペン
修理部(如何なる大破損も即時修繕)京城旭町二の六 東京植松出張所

通信中學校
日本唯一…官立中學の代り。僅か壹ヶ年卒業 學事補助金壹圓宛各ニ贈呈す。外特典有り
校長 侯爵大炊御門經輝 敎授 錄見本校則進呈 東京市本郷區大學正門前 大日本通信中學校

京日案内
普通 一回前金一行二十錢 番外 一回前金一行五十錢 三回分前金は二割引
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

犬猫牛馬に狂犬病豫防注射を施す時は狂犬病に罹らず 犬猫診療入院 五錢 永樂町二の七七 高木獸病院 449
古本 高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 446
◉外交員數名採用 希望者至急本人來談あれ 京城雜誌通讀會 京城南山町三の二九女學校表門上 444
店員募集 營業經驗ある者履歷書携帶本人來談あれ 京城南大門正面 救世藥舖 448
▲義太夫稽古本▲全部取揃へ有候 京城本町〇電二五二七 ウツボヤ書店 427
◉濁酒賣出し賣子三名入用 龍山元町一丁目電話百五十四番 鳥山酒造場 443
恩給類即金立替 新龍山漢江通六番地元田町 江州屋龍山支店 希望者は自筆の 452
◉代診生至急入用 履歷書携帶來談あれ 姓名(京日仁川支局) 454
◉轉居 産婆 伊藤智満 旭町三丁目一二 メソヂスト教會横へ 433
古本なら野村 買入誠實御報參上 明治町二六三 野村書店 431
◉古本熱心高價買入△御報參上 是非御試賣を乞ふ△本町四 電話二七八一番△書肆群書堂 437
◉貸家 日本建溫突付三室五圓半 三坂通官吏向の別莊的 管理者商龍山印刷局先畑中 296
栗ひろい 番外 良場所驛政府驛より一丁 但栗飯御茶御用命に應ず 442
恩給年金 低利長期即金 立替 451
下宿議る 下宿業今回閉鎖に付居抜きの儘 市內便宜の場所にある有望なる 讓渡す(姓名在社) 大至急 450
恩給 年金 地方同業店取扱催拂特別低利 長期即金 渡受 京城永樂町一 商品陳列館前 江州屋本店
鑛物各種分拆 京城太平通二の二三〇元朝陽分析所 電話二八三三 松永分拆所 260
魔法瓶中瓶取替 柳製專賣 艶其他色々 京城本町一丁目 齋木旅行用具店 447
移轉 明治町二丁目 京城病院前 傘提燈商 大島商店 電話一六三五番 414
最早ストーブの時期が見えました(へきました) メツキ修繕に御送りください 京城明治町一 電話二七一一 江草電鍍工 242
礦物定量分拆 京城府太平通(朝鮮公論社左小路) 電話一三四四番 坂元分拆所 252
內科 小兒科 大和町一丁目(日の出橋下ろ) 爲春堂醫院 (電話九一八番) 184
院主 古城 個吉
恩給年金 隱居料 即時立替 短期無保險利壹步貳厘五毛 本町二三番地 京城日報社北方一丁 國江商會 200
病人用輸送車 新式輸送車 新著仕候御用命を乞ふ 京城總督府醫院前 電話一五八〇番 山口組 96
總督府醫院御用 本町二ノ四五 高等下宿 山田醫院前 割安勉强 和合館 418

# □大元帥陛下御發輦

## 陸軍大演習御統裁御治定

大元帥陛下には福岡縣下に於て擧行の陸軍大演習御統裁の爲め來る十一月七日東京驛御發輦同縣下へ行幸あらせらる可き旨一日御治定相成たり尙陛下には七日夜名古屋離宮に御一泊八日午後神戸港より御召艦榛名に乘御霧島比叡兩艦供奉の上佐世保に向はせられ十日午前同港御著直ちに御發輦行在所福岡縣廳に入御十一日より十四日迄大演習御統裁十五日午前福岡練兵場に於て觀兵式御擧行同日午後築港埋立地に於て大宴會を催させられ十六日午前福岡停車場御發輦還幸の途に就かせらるゝやに承る(東京特電)

# ◉首相松侯會見模樣

## 松侯後繼者に就ては言明せず 元老會議開會の上愈々決定か

大隈首相は二日朝來早稻田の私邸にありて安達謙藏、江木翰長其他二三氏の訪問を受け午後二時に至り鎌倉より歸京したる松方侯を訪問し刻下の時局に對し約二時間に亙り意見の交換を行ひたるが其の際首相は頽齢に堪へず愈々辭意を決したる旨を言明したる後後繼者として加藤子を推薦すべき旨を述べたるに對し松方侯は首相の意を諒とせしものゝ如くなるも加藤子推薦の件に關しては贊否孰れとも言明せず後繼者に就ては元老會議に於て協議すべき旨を語りたる模樣なれば其選定は一兩日中に開會すべき元老會議に於て決せらる可し(東京特電)

# ◉辭任愈切迫?

## 四日辭表を捧呈せん

大隈首相は前電の如く二日松方侯を訪問し辭意決定を告たるが之れにて山縣公、大山公、松方侯の三元老に對し辭意決定並に後繼者問題に關する所信を述べ刻下の政局に就て遺憾なく意見の交換を了したるを以て三日の定例閣議に於て始めて辭職に關する凝議を公式に爲す筈なり右に就き首相は北陸地方巡視中の大島陸相に對し二日午後召電を發したれば陸相は三日朝歸京すべく而して首相は三日の閣議にて老齢職に堪へざるを理由として辭職する旨を述べ各大臣亦首相と進退を共にする事に決すべく其れより首相は辭表を取り纏め宮中の御都合を奉伺し之れを闕下に捧呈すべき順序を爲るべきが多分參内は四日となるべく其際首相は前記の如く辭表を捧呈し且つ刻下の政局に就き委曲奏上するところあるべしと(東京特電)

# ◉山公訪問

## 大山公井上侯を

山縣公は二日午前八時後藤男の來訪を受け同男辭去後十時十分自動車を驅つて大山公を自邸に訪問し時局に關し懇談する處あり十一時半自邸を辭し夫れより内田山に井上勝之助侯を訪問し零時半目白椿山莊に歸れり(東京特電)

# ◉鼎座凝議

政局の推移彌々急なる二日午前七時同志會總務安達謙藏氏は大隈首相を早稻田の私邸に訪ひ會談約一時間後にして退出直ちに加藤子を麴町の邸に訪ひ此所にて待合せたる濱口雄幸氏と三人鼎座長時間凝議し午後二時に至り安達氏は江木書記官長を官邸に訪ひ加藤子邸に於ける談話を報告せり(東京特電)

# ◉合同數決定

## 公友派二十二名

公友倶樂部にては一日午後所屬代議士總會を開き合同參加者と現狀維持派とを確定したる結果總員五十二名中現狀維持者二十六名合同參加者二十二名(此の外未定者下岡忠治、戸叶薰雄、古屋慶隆、不明者本田親濟)に決したるが下岡氏等は現狀維持派に加はり合同に參加せざるべしと(東京特電)

# ◉對支事件解決嚴談

林公使は去月三十日段總理と會見公使より青木中將招聘の件及び鄭家屯事件迅速解決督促に就て嚴重に交涉したるに段總理は承諾の旨回答せり(北京電報)

# ◉孟吉林督軍の謝罪

長嶺子事件に關し吉林に赴きし菊池中佐は孟吉林督軍の謝罪を得同時に日本兵引揚のことに交涉決定不日實行さるべし(長春特電)

# ◉副總統選擧魂膽

## 結局馮國璋を選擧すべきか

國會は茲數日内に副總統選擧を爲すの準備成り居り議員は馮國璋を希望し居れり又徐世昌を副總統に推薦すべき希望を有し居る議員は將來徐を總理と爲すの條件にて馮國璋を副總統に選擧することに贊成すべく協議整ひたり尙副總統は來月十日前に副總統決定せば南苑の閱兵式に臨む可く然らざれば閱兵を見合すべしと(北京電報)

# ◉三線運賃問題

## 首相官邸にて開會

三線運賃問題會議は永田町首相官邸に於て開會の筈なる處五日鐵道院に於て開催のことに變更せる旨二日江木翰長より鐵道院に通知し來れり、但し時局切迫の爲め豫定通り開會す可きや否やは疑問なりと(東京特電)

# ◉川村元帥出發

川村元帥は二日午後四時東京驛發朝鮮經由渡滿の途に上りたるが同地駐屯の第十七師團及び獨立守備隊の秋期機動演習を視察し本月下旬歸京の由(東京特電)

# ◉下旬對外貿易

九月下旬の外國貿易は輸出に於て米、茶、砂糖等稍減少したるにも不拘生絲等の增加に依り前旬に比し一割六分を增加し三千九百七十七萬圓に達し輸入は棉花其の他常用品の減少に依り前旬に比し二割四分を減少し一千八百九十九萬圓となり差引二千〇七十八萬圓の輸出超過を示せり(東京特電)

# ◉米大使釜山著

駐日米國大使ガスリー氏一行は二日夜對馬丸にて上陸し鐵道ホテルに投宿せり若松府尹橋本署長岡村參事堀井驛長外官民多數出迎へたり(釜山特電)

# ◉事件頻發する滿洲

## 孟督軍の態度は飽迄穩でない

陸軍少將 西川虎次郎氏談

關東都督府參謀長より參謀本部第四部長に榮轉せる西川陸軍少將の入京を二日途中まで迎ふ、將軍は曰く旅順に赴任して二年六箇月其間日獨戰爭日支交涉ヤレ日貨排斥鄭家屯事件と問題頻發實に多忙續きで參謀長會議にも一回も出席せず、ズッと滿洲生活を續けてゐた、朝鮮には日露戰爭前の明治三十六年京城まで來た事がある許り、殆んど初通過に同じだが山河の風物米穀の豐穰情景殆んど內地に異ならぬと山の靑きを賞しつゝ、話頭一轉

▲吾輩の北京行 旅順出發前北京に旅行し五泊して來た要務は林公使が鄭家屯事件の談判を支那政府に致すに付怎うも實地の狀況に疎くては何彼と不便不利がある故吾輩は當時の實情及び衝突の經過等に付巨細の說明をして來たのである、談判の進行は外間より見てゐると如何にも遲々として捗どらぬやうにもあるが、支那外交總長の椅子が彼方此方グラついて居る氣味があつたり五百萬圓の實業借款問題が湧いたり更に支那政局の形勢穩やかならざる風ある等の爲め止むを得ぬやうだ

▲督軍の横紙破り 吉林の支那兵が朝陽坡で蒙軍の引揚げを監視せる吾が兵に向つて發砲し、國旗に彈痕を殘した事件は傳へらるゝやうに交涉を北京に移す程大きくはなるまい唯戰爭に願い許りで兵卒より吉林の督軍に祭上つた孟恩遠氏が頻りに支那兵の發砲は日兵が豫め通知せる地點以外に兵を派遣した爲めで止むを得ぬやう强辯してゐるのは不屆だ、都督府では蒙軍引揚げ監視に付豫め通知せる地點以外に吾が兵を送る事を公文で先方に通告し、又周吉林省交涉使にも都督府で其の事を明示してゐる、此事實を無視し己れの非を蔽ふに急なる督軍の態度は穩やかでない

▲蒙軍南下說 一旦引揚げた巴布札布軍が復活して復た南下するやうの風說は支那側から傳はる、然し眞僞は全く分らぬ、何しろ交通及び通信の便を殆んど缺げる滿蒙の間とて的確の情報は誠に得難いのである、或は前後の情勢より想察し此事絶無とも思はれぬ、滿蒙も今後は天漸く寒いから蒙軍の活動に不便ではあるが、彼等は常に天幕生活に慣れ寒威の如きは多く意とせぬらしい、それに又復南下となれば毛皮揃は大に掠奪して準備するだらう

▲弱れる張作霖 張奉天督軍には昨一日ゆつくり會見した、督軍は漸く其の任に就いて半年經つか經たぬ間に、面倒な事件が踵から〳〵出て來るので大分面喰つてゐるやうだ、相當行政上の經驗手腕ある人でも最近の奉天省の如く問題續發がり頻いては辟易せざるを得まいと思ふ、督軍の憂心悶々閉口し切つてゐるやうな說は必らずしも嘘でなく、又誰れがあの位置に就いてゐても併々心痛は少なくあるまい

▲紛爭絶えまじ 長春公主嶺間の遼陽師團機動演習は來る中旬から開始されるが、其の參加の爲め佐藤枝隊も目下の駐屯地を引揚ぐるやうにならう、其程度等は現在日支交涉の成行によりて左右されるので、まだ分らない、左樣滿洲も目下問題は一寸小康の體だが今後兩國間には色んな紛爭を生ずるものと思はねばなるまい云々……龍山より白水少將竹內千輪兩副官乘込み南大門驛で將軍は立花師團長と堅い握手を交した

# ◉市原氏記念會

十月四日は前朝鮮銀行總裁故市原盛宏氏京城に逝きて滿一週年に相當するに付同氏の知友相集りて同日午後五時鍾路基督教靑年會に於て記念會を營む由なるが當日は豫め通知狀を發せず發起人總代水越理庸氏の名を以て新聞紙上に廣告しあれば市原氏生前の知友にありては隨意參會を希望する由

# ◉西川少將入京

關東都督府參謀長より參謀本部々長に榮轉せる陸軍少將西川虎次郎氏は赴任の途二日午後七時五十分南大門驛著入京せしが停車場には立花古海中將白水少將野田副總裁隈部山形高橋岡本各大佐外官民の出迎ひありし少將は直ちに朝鮮ホテルに入り二泊の上四日朝發南行すべし

# 纛島果實行

一記者

秋漸やく闌に郊外の散策正に好季に協する十月二日、東拓吉原總裁の名を以て、折柄纛島の果實見頃食ひ頃なる故是非一遊をと招待せられ、當日午前黃金町の會社に集まる者は秋谷、大垣、牧山、玉井、橋本、山口、是經、前田、阿部、山崎、中島の十一名勢揃の上大塊副總裁、二條、洪翻、兩理事、三宮秘書等の案內にて三臺の自動車に分乘し、秋風を衝て纛島に至り、先づ徒歩にて長安坪の開墾地を見る稻穗垂々たる間を早や跳に躍躍として步する人多く、來合せたる權藤君の馬を衣繡居士が一寸失敬して長堤の上を苦驅するに權藤君の心臟鼓動すること一方ならぬ可笑味なきあり、先づ行き疲れたる大塊翁に引かれて出張所樓上に到り憩ふ松田所長の說明を聽き午後から果樹園を一巡するに紅果靑果纍々として美事さ謂はむ方なし、手折りて噛りつゝ不心得者も、エデンの園と異ひ、此處では傍若無人也。再び樓上に歸り午餐の饗を受くるに凉風吹いて洽ねく清爽の氣室に滿ち大塊老の如きは枝豆にて芳烈なところをコップで三杯から聞こし召し滿悅の體なり。卓上の苹果梨果さては葡萄の類、京城の客には最も珍味にて快喫滿喫して飽く所を知らず。席上興頻りに湧きて何吟連發、筆硯忙を極む。花を蹴して歸りしは午下二時。

菓は散り赤き苹果の梢まで 大塊
宗匠は馬に乘りや秋野かな 無佛
椅垂立ち後れけり稻波哉 皐天
さむさめく尾花の跡の稔哉 一象
靑果紅果纍々イブの昔も偲ばるゝ 一象
苹果紅果纍々と秋日照り榮え 翠雨
薫りしく田面を行くや都人 破生
開墾の觀光團や秋晴るゝ 皐天
珍客を迎へて果樹の登哉 島人
魯西亞は一歩おくれへ梨林檎 洪窓
吾顏は知らず苹果の日に赤し 詩橋
李白多き長安坪や豆の宴 同人
醉ふ人の馬上危うし枯柳 成村
秋晴れや長堤幾里駒迅し 皐天
昨夜乘り今朝乘る馬の秋野哉 大塊
晝夜兼行一鞭に打つ秋野哉 玄濤

九州馬上にゆたかなり公達は秋の勸野を馬うたす 成村
馬うたす秋野のたより巴里の月 無佛
乘り馴れし馬思ふなる巴里の秋 大塊

大塊翁の此の句壓巻なりと喝采の裡に萩谷成村居士の都々逸出來たり

不實なようだが忘れて見たい思ひ出しては限りがない

# ◉結黨式擧行は十日

## 新政黨組織準備委員會開會

新政黨組織準備委員會は二日午前十時より衆議院議長官舍に開會先づ富田幸次郎氏より黨則案起草に付き說明あり一二字句の修正を爲し全案を承認せるが役員に關する重要點左の如し

總裁一名、總務一名、幹事長一名、幹事若干名(相談役を設くることを得)

尙結黨式は來る十日擧行のことに決定せり(東京特電)

## 人事消息

▲荒川喜代次氏(大阪工務所長) 二日夜退京
▲三原新三氏(木浦模範農場技師) 同上

## ▣竜言北語▣

米國の大統領選擧も大に迫つて來たので候補者は熱心に遊說して居る▲獨系米人はウキルソン大統領が軍需品敵國輸出を默許せるを憤慨し投票のボイコットを宣言したとか▲而も拔目ない先生達であるから自分等もコソ〳〵軍用品を敵國に輸出してるが表面は其の科をウキルソン氏に擦つける計りでない▲反對のヒユース氏に味方をするとはウキルソン氏こそ好い面の皮だ▲支那で十三省同盟會などをやつて武斷派の牛耳を取つて居る張勳先生の人物を知るに適切な話がある▲先年先生が北京に行つた時北京では朝野の人達が盛大に歡迎會を開いた▲而して各々張先生を大に褒め立てると張先生はヌックと許に立ち上つて『我不怕死』とタッタ一聲獅子吼してドンと胸を叩いて見せた切り其れが先生當日の答辭だつた▲伊東知也君が段祺瑞に會つて滔々と復辟論を吹きかけた▲段君お說御尤もで聞いて居たが『目下國會開會中だから萬事其の決議を經ねばなりません』にて流石の伊東君も赤面して引き下つた相な▲張勳と段祺瑞と兩々相比て見ると其間にも人物がチヤーンと判る▲京城では近來非常に乘馬が流行して市中では能く馬上堂々たる殿子振りを拜見するが▲鳥渡御參考迄に申上て置きたいのは今度馬の暴れるのを防ぐ器械を造つた人がある▲この器械は馬の前脚に取り付けて置くと市中で馬がヒーンとやる時ドッコイならぬと取りすくめる仕掛だ相な▲此方から少し注文して上げても好いが御用はないのかね▲其とも意馬心猿の狂ひ勝の連中には二ツ位取り付けて置く必要があらう。

□附錄 本日再築落成號附錄四頁


# 令孃修養號

淑女畫報特別號

(鮮麗なる畫報五十餘頁の內)
□松林御遊の久邇宮三女王殿下
△東伏見宮兩殿下と山階宮女王殿下……△令孃生活……(生花、服物、合奏、外出)△新郎新婦と令孃鑑(花の如き數十葉)
▣令孃十態(四名家令孃の嗜みぶり)
△跡見花蹊女史の淺間山登山 △園藝を樂しむ中川伯爵の家庭 △逆の投入と土屋博士夫人の生花
▣公侯兩家婚禮次第……(式の始終を殘りなく寫眞)
△令孃向きの髮と帶の結び方…… △活動寫眞「銃聲」(第二回)…… △何所に居ますか……(懸賞寫眞)
▣文展出品と閨秀畫家
本號に限り 金四十五錢 郵稅五錢

(興趣深き讀物百六十頁の內)
▣習慣と修養 棚橋絢子
△共鳴……幸田博士 △名流令孃の嗜みと讀書……諸名家 △役に立たぬ姫樣育ち……中川良子
▣愛の勝利
△月下の影(長篇家庭小說)……小栗風葉 △奇怪な幻術者(奇譚)……菊池幽芳 △潔き覺悟(忠臣藏物語)……雪曙樓
▣各女學校怪異譚
△四方より見た大阪令孃氣質……薄田泣菫 △身を切らるゝ樣な媒妁苦心……佐藤顯造 △二度と行くまい公爵樣へ……與野他見男
▣浪子不動に詣づる記 秋雲旅客

十月號 東京本町 博文館



# 朝鮮及滿洲

十月號 第百十一號
京城旭町 振替京城一三一番 電話一二五〇番 朝鮮雜誌社
每月一回一日發行 一冊定價二十五錢 一ヶ年金三圓(內地郵稅) 全鮮有名なる書店にあり

▣朝鮮移民難と滿蒙發展……大塊 ▣鄭家屯事件と支那……法學士 高橋
▣三田山上に鎌田先生を訪ふ……二千峰 ▣歐洲戰と自覺的財政……ラーモント
▣日米戰爭論と眞面目の研究……ゲーリー ▣滿洲の人物
▣汽車中に本鄉中將と語る……可水生 ▣支那に於る邦人の紡績經營……服部
▣秋の滿洲……釋尾旭邦 ▣金剛山行……釋尾旭邦
▣日露親善の價値……森幹事 ▣蒙古雜觀……太田
▣支那に對する吾猶の態度……後藤男爵 ▣滿蒙問題と國論の統一……立花
▣毛髮の人類學……久保博士 ▣最近朝鮮政變史……國分事務官
▣紋付の上原將軍と背廣の西川參謀長 ▣無題錄……吉堂生
▣日露貿易の發展と金融……大倉男爵 ▣寺內總督評論を評して……可水生
▣大阪對朝鮮貿易……岡田生 ▣奉天支那人物印象記……崩藤生
▣キザ黨とホド……ヒマラヤ山人 ▣京城と菊作り……崑崙山人
▣奉天に菊池中佐と語る…… ▣チブスとコレラ……ドクトル無名氏
▣朝鮮の果樹園廻り……可水 ▣艶子のこと……



# 師範講義

小學教員たらんと欲する男女は本會に來れ 會則無代進呈
師範本科一年半、簡易部(正准及師範入學)六ケ月、英語部一ケ年卒業
會長 澤柳文學博士
東京市牛込區津久戸町二四 日本師範學會

銀行會社商店員募集
講義解說丁寧親切內容豐富講師は一流大家卒業者は就職望次第六ケ月卒業會費二圓十錢會則申込次第進呈目下特典提供入會絕好機也
東京牛込西五軒町 銀行會社事務講習會


◉鍾路運動會 鍾路小學校にて

粉碎せる獨墺聯合軍……軍はボテルターンの狹路の兩側……に逃げ込み獨墺軍は同地を占領せり（倫敦電報）

大阪期米（三日）

仁川米豆取引所

●山崎博士拜命

奉天軍署に達したる張討伐司令官よりの公電に據れば蒙軍八百名は外人……するを以て進攻すると難し遂に日官……るのみか彼等に一撃を與ふる事太だしたれば目下官蒙兩軍は遂に對峙中、或は殘留したる部隊なる可し更に確……と平和に交渉して日兵を撤退せし易々たる可も張習軍は鄭家屯新河に在りと云ふが一旦北歸せし筈の蒙……探の上再擧す可し（奉天）

# ●肴屋さんが山へ茸狩に
## 虚を付け込んで廉い鮮魚に舌鼓

コレラの流行で一番打撃を受けたのは朝鮮の漁業家魚問屋及び肴屋であらう肴屋はコレラのお蔭で毎日の御得意先が駄目となるし肴屋が困れば

■魚問屋も困り　魚問屋が弱れば沿岸の漁業者が弱り延いてはまた沿海の漁船が青息を吐く、それにまた釜山あたりでは漁船の抑留されたものが夥しいので市場の水揚高は非常に減つた、それにこれ等の漁船は内地と異ひ一地方が駄目となれば他地方に移るといふ便利がなく皆朝鮮沿岸の漁期をあて込みに出漁して居るので

■今年のやうだ、とてもお話になりませんと大弱りである、京城の魚問屋はまた沿海の漁業者と小賣商人との間に立つて板挾み、日々汽車で來る鮮魚の中でも少し古いと思つたものはドシ／＼除ねて居るからこれも全く商賣になりませんとこぼす、次に小賣の肴屋さんは京城に約三百人近くもあるがこれがまた昨今何れも商賣がなく中には從來の得意先に

■牛やかしわを　取つぐ者も尠なくない、それに中には時節を待つさと許り毎日茸狩りに遊び暮す連中もある、憖座次第で京城の肴屋は先月の廿日頃から大恐慌で殊に魚市場の賣上高は平素の約三分の一にも足らぬ毎年慰廢ことだと肴屋稼業も考へ物ですとこぼして居る、併し中には慰廢鮮魚の廉い時分にたらふく御

■馳走になつて　徂けと毎日新らしい鯛の御料理に舌鼓うつお客も多いさうで其の人達の言分によればコレラ菌の注意は鮮魚に限らず獸肉にも野菜にも乃至干物にも必要な譯で若し一應煮沸して喫べるといふことになれば鮮魚でも豈て差支ない……との御意見、その人達のやり方は先づ家の戸口で肴屋に料理させ切身をそのまゝ鍋に入れて直ちに

■火にかけるこ　いふ用心ぶり、まるでペストの鼠でも取扱ふやうな次第である、昨今茸狩の肴屋さん曰く『全くこれではやりきれません、頭日は一年中で一番魚の美味い時分ですがね、油が乘つて身が明て一番美味い時分なのに惜しいものです、今年はコレラのお蔭でいやはや酷い目に遭ひました、併し朝鮮ホテルや總督府醫院などでは相變らず鮮魚の

■料理を出して　居られます唯だよく鍋で煮てお喫りになれば決して心配のものでは無からうかと思ひますが、全く以て此の分ではやりきれません……』

# ●タンク自動車　敵を惱す
## 絶えず側面より石油を噴出して

英軍總司令部附ロイテル通信員の所報に依れば英軍はグユウデクールの正面攻撃困難なりと判明するや石油タンク自動車一臺を派し歩兵をして同村落を無事通過せしめたるが該石油タンク自動車の戰鬪現場に到著するや敵軍機關銃陣地を妨害して其總てを沈默せしめたる後村落西北方に於て敵の堅固なる戰線に接近したりし其の際獨軍は直ちに大軍を以てタンク自動車に向つて突進し爆彈を投げ付け或は間隙を窺つて小銃を亂發せり爲めに敵は最早や之を捕獲せるもの〻如く思ひしもタンク自動車は依然として其側面より絶えず石油を噴出して敵を惱したり斯くする内に英軍の歩兵到著して敵を攻撃し敵はタンク自動車を奪はんとして奮鬪したるも失敗に了り三百名の死傷者を遺棄して退却せりタンク自動車は熱烈なる英兵の歡呼聲裡に夥多の捕虜を護送歸途に就きたり（倫敦電報）

# ●列車々止に衝突して破損す

山陽線三石驛に二日朝上り貨物列車到着し機關車は同驛にて三輛の他の貨車を連結せしむ可く作業中機關車の震動にて動き出したるが同驛は急勾配なるより元來し道へ走り出し加速度にて急速に走り廻避線の車止に衝突し八輛の貨車は大破損十三輛小破損を爲せり（大阪特電）

# ●工學士の自殺

在京都の工學士岡本秀一氏（三二）は二日短刀にて自殺せり（大阪特電）

黍の秋　—奨忠壇にて—

# ●京仁沿線狩獵地の賑ひ

仁川附近の山野沼澤河濱も狩獵期に入つた一日の日曜から勢ひ立つた狩獵家の爲めに大分荒されたが就中京城方面や其他の沿線から乘込んで賑やかな夢に耽つて居た鴨や雉子を脅やかしたのは素砂驛から一里許り距つた蛇川場と更らに一里半許り奥の安山に到る間であらう、同地方の昨今は山には雉子野には鴨で餘程肥つた打方をしても一羽二羽は役當りに當ると言ふ程だと言ふから素晴らし過ぎて聊か眉唾ものだが然し一日の南大門行きの列車には數十羽を打つてメートルを大分上げて歸つた人も尠なくはなかつた其他の方面では江華島大阜島靈興島等が有望で雁鴨の十一月から二三箇月迄の時期は此の方面に遠征を試みる人は大分多い仁川の狩獵家中には玄人として韓崔の鮮人側兩名手を筆頭として内地人側では土井高平安の三氏素人では警察署の藤内税關の平田樋屋さんの井上通關業の中島等の諸氏である因に本年の免許出願數は例年の半にも滿たぬ卅六名位のものであると

# ●電氣に撃たれたやうに死ぬ症状

昨今各地にて流行の虎疫の症狀に就ては係員醫師等は頗る研究中なるが其の症候には恰かも赤痢樣の下痢をなす者あり極めて輕症にて罹病し居るや否や判明せざる疑問的のものあり、甚だしく吐瀉するものあり、又電氣に撃たれたる如く猛烈なる病毒の爲め即時卒倒するもあり爲めに檢診に於ても鑑定する士甚だ困難して京城にては鍾路六丁目に發生したる患者の如き症狀に於ては虎列拉の模樣なく檢便の結果に依り初めて虎疫患者なりしこと判明する次第にて斯の如きは往々あることなりと又極めて輕症なるものも檢便の結果に依り判明するものにて仁川には此等輕症者も幾分ありと某係員は語れり

# ●親孝行をせんとて悴と共に竊盜をした
## 執行猶豫の恩典

山口縣熊毛郡佐賀村生れの河内由信八（四八）は昨年八月渡鮮し龍山漢江通にて日傭稼ぎをなして幸くも家族四名の糊口をなし居れるが尚郷里には八十一歳なる老父一人を殘しあり如何にもして老父を呼び寄せ同捿せんと焦慮したるも旅費金の調達に窮したる結果長男俊一（一五）と共謀し七月以降九月一日迄に勝手を知りたる岡崎町の材木屋大二商會に忍び込み前後數十回に松板其他を竊取し龍山憲兵分隊の手に捕へられ京城地方法院にて信八は懲役六箇月（三年間執行猶豫）の處分となれり

●鑛夫團上陸　二日午前九時入港の高麗丸にて助川鑛山行鑛夫團六十八名上陸直に午前十時半發列車にて助川に向へり（釜山支局）

「榮の花輪」　豐竹呂昇丈へ　市川市十郎丈へ　本社寄贈

# ●鍾路署防疫上の英斷
## 一擧八千五百餘名の健康診斷
## 約一千箇の井戸の使用を嚴禁す

京城鍾路警察署管内鍾路六丁目に生したることは既報せしが其後鍾路署の全力を注げる防疫所置に依り幸ひに患者の續發を見ず、元來這回の發生地たる鍾路六丁目を初め同五丁目、忠信洞、孝梯洞、梨花洞の一帶は頗る低地にして地層常に濕氣深く路傍屋並附近は汚水の停滯するあり爲めに消毒、隔離、消潔法實施等にも困難の地域なれば、此際殊に同地方一帶は大警戒を要するを以て鍾路署にては二日早朝當非番巡査全員を召集し前記數洞に亙り嚴密なる檢病的戸口調査を勵行したるが其戸數一千六百五十二戸、健康診斷をなしたるもの八千五百十九名の多數に達したるも幸にも疑はしきもの一名もなかりし、併し此際猶一層警戒の爲め該區域所在の共同井戸全部九百八十七箇所には悉く石油を注入して其の使用方を嚴禁し同時に水道官設共用栓を開放したり尚三日は引續き前記警戒區域を包圍して臨時消毒的大清潔法を實施し汚水停滯水の一掃に努め同時に下水溝渠の浚渫、便所塵芥等殘る所なく嚴重處分すべしと

# ●町洞總代選擧準備

京城府は三四日頃本町筋一圓の氏子總代一同の出頭を求めたる上今回實施されたる町洞總代規則により町總代選擧の件に就て下相談會を催すべしと

# ●飛降りて負傷

一日午後三時頃京城電氣會社の九十七號電車が黄州通より光熙門に向け西大門町一丁目を進行中乘客なる始興郡東面獨山里の李完果（四二）が飛降りなをし頭部に打撲傷を負ひたるが即時應急手當を加へし爲め生命に異狀なし

# コレラ彙報

▲給水所消人發病　長崎縣人にして目下漁港入口の給水所消人たる釜山臨仙洞齋藤しな（三一）は三十日午後俄然發病せるが直に傳染病院に收容し檢便の結果午後四時眞正虎列拉と決定す

▲虎疫豫防會議　大邱虎疫猖獗の爲め地方檢閲中の服部警務部長は卅日急遽歸隊即夜鈴木道長官、入澤第一部長、吉村第二部長、竹崎大邱府尹、小永田警察署長其他警務部に於て防疫會議を開き善後策に就て協議する所ありたり（大邱支局）

▲開校式無期延期　大邱高等普通學校は來る十六日開校式擧行の筈なりしも虎疫流行の爲め無期延期せり

▲防疫費寄附　仁川松本要太郎、小倉柳助、佐藤小五郎の三氏は二十九日各十圓を仁川府防疫費中に寄附したり

▲漁船中に發生　仁川港内停留水産會社所有漁船中に二日午前十時頃内地人一名の虎疫患者發生せり

▲高陽郡　龍江面東幕にては既報二名の發生患者ありしが尚同里村昌先妻黄氏（三〇）は三十日午後五時死亡又漢芝面東永塵里村聖俊（五二）も三十日午前六時死亡何れも眞正と決定

▲遞信倶樂部にては一日午前十時三十分より同コートに於て秋季庭球大會を催し午前中木下永山兩氏の審判にて同部員の紅白試合を行ひたる結果加藤組一等上村組二等、内山、阿部組三等となり午後一時終了し同二時三十分より鈴木、安達兩氏の審判にて當日招待せる鮮銀、京電の他の各チームと對戰の結果左記の成績を以て自軍の勝となり最後に優勝者試合の結果左記の成績な表はせり

| 紅 | | 白 |
|---|---|---|
| 木下・吉賀 | ◎—三 | 上村・小柳 |
| 吉田・佐脇 | 二—三 | 香川・寺尾 |
| 香川・佐山 | 三—一 | 大島・藤岡 |
| 松本・増田 | 三—〇 | 福田・□□ |
| 加藤・小山 | 三—〇 | 永遂 |
| 熊丸・立見 | 三—一 | 菊川・米田 |
| 菊田・鈴木 | 〇—三 | 戸賀崎・坪井◎ |
| 松本・増田 | 〇—三 | 莊子・宮川◎ |

| 紅 | | 白 |
|---|---|---|
| 高木・永山 | 二—三 | 上村・小柳 |
| 香川・佐山 | 三—二 | 田中・寺尾 |
| 松本・増田 | 三—二 | 新保・中村 |
| 長岡・前田 | 二—三 | 永遂 |
| 加藤・小山 | 一—三 | 菊川・米田 |
| 熊丸・立見 | 二—三 | 戸賀崎・坪井 |
| 香川・佐山 | 〇—三 | 莊子・宮川 |

組三等となる　當日招待せる……朝鮮銀行、京城電氣會社、總督府、東洋拓殖會社、朝鮮商業銀行、滿洲日々新聞支局

## 二度と聞かれぬ名人呂昇の四日目

佐倉の曙　宗五郎子別れ　右昇
安達原　三段目袖萩祭文の段　喜昇
伊勢音頭　油屋内の段　東廣
野崎村　久作住家の段　呂昇

京城本町　有樂館

▲有樂館　豐竹呂昇一座の四日目語り物は左の如し　▲御祝儀賓の入舩（昇玉小昇）▲加賀見山六ツ目そうり討の段（昇文）▲白石噺七ツ目新吉原揚屋の段（昇六）▲忠臣藏六ツ目勘平切腹の段（昇升）▲阿波鳴戸八ツ目巡禮歌の段（呂鳳）▲玉藻前三段目道春館の段（捕劇）▲佐倉の曙宗五郎子別の段（右昇）▲安達ヶ原三段目袖萩祭文の段（喜昇）▲伊勢音頭油屋内の段（東廣）▲お染久松野崎村の段（呂昇）

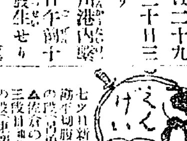
▲大正館　三日より特別興行として新寫眞と芸者にたり然かして今回は活動寫眞の餘興として新たに東京より招聘せる少女浪界の花形日吉川うの子の出演あるべく又その主なる寫眞は左の如し　實寫伊太利アペツアの大惨事▲滑稽M君の靴　▲喜劇部三人▲泰西活劇波の上全三卷▲新派活悲劇二人の肚全四卷

▲市十郎滿員　壽座に開演中の市川市十郎は八十餘歳の老躯を提げて舞臺に活動せる同人の元氣に同情集まれるものか連夜大入滿員の盛況にて一日夜の如き六時半に札止めさなれり

▲呂昇後援會　有樂館に開演せる豐竹呂昇の人氣も素晴しきものにて一日夜の如き立花師團長、芳賀森安兩博士、水越、木村鮮銀理事等の…見せるあり赤市内料理店置屋女將連、三券番取締藝妓その他三券藝妓の組見など頗る光彩を添はたるが尚は呂昇贔負の京城有志中に呂昇後援會を組織し大々的の組見を催して以て遙々渡鮮せる同人のために聲援すべく計畫中なるが四日目頃より實現すべし

▲昇六は三枚目　初日以來七八目を語り居りし呂昇の姪安昇六の人氣も一座切つての花形丈に非常なるものにして同人の語り口を聽かんと詰めかくる人々も多數なるより三日目より特に三枚目に紺け出し東廣の前を語る事とせり

▲呂昇會開會　村田東拓理事、馬詰東亞煙草所長等の發企にて三日午後花月に呂昇會を開くべしと






男女問題號
婦人之友　十月號

○謂ゆる『内縁の妻』　記者
○二未亡人の行え　記者
○夫ある身を懸想されて
○妻ある人と秘密の文通
○姑と嫁の意見の違つた時（婦人用語）
○不姙の責任は男女共通
○兒童に對する性の教育
○娘は如何にして男子と交際させるか
○何うしたら家庭の煩悶が無くなるか
○いま少し自由に
○子孫の爲に配偶の選擇
女の服裝は如何に變ずるか
結婚生活失敗と成功
▲如何なる夫婦を失敗したる夫婦と謂ふか
▲如何なる夫婦を成功したる夫婦と謂ふか

毎號連載　家事寫眞　掃除のしかた
▲家庭で雞を清潔に飼ふ法
▲土藏を上手に利用して下町住宅
▲手輕に出來る變り飯の炊き方
▲番茶をおいしく入れる
▲袷、綿入、夜着蒲團の早縫秘傳
長編小說　朝の歌　（大評判）佐藤紅綠
定價金廿錢　郵税一錢五厘
東京雜司ヶ谷　婦人之友社　振替東京三二六〇〇

會員募集　講義錄
東京藥學會
藥劑師志望者にして通學の餘暇なき者は入會せよ
藥學の知識を得んとする者及藥業從事者は速に入會せよ
主幹　講師東京藥學校藥學士　神谷吉兵衛
講師　飯盛前教頭有賀學士神谷學士小島學士野口學士村山學士大河學士望月學士稻田學士福森藥劑學士
本會講義錄は内容嶄新如何なる初學者にても修得容易
藥劑師の最近道　本會は藥學士專門大家の分擔執筆せる東京藥學講義錄に限る
見本つき會則　申込次第進呈す
講義錄完結八ヶ月卒業
特典三大　此際入會者に限る
東京神田三崎町　東京藥學會

日韓書房
新版報告
三宅雪嶺著　改訂縮刷　想痕　定價一圓六十錢
鐵道院編　本邦鐵道の社會及經濟に及ぼせる影響上中下卷附圖　常磐津集　定價五十五錢
芳賀矢一著　木檜恕一著　雜木利用　最新家具製作法　定價一圓三十五錢
栗原古城譯　新譯西洋品性論　定價一圓
京城本町二丁目　振替口座五一一番　電話一四五番

登録商標
▲熱平の原紙
▲熱平の原紙
▲愛用の粉は

和洋ストーブ一式
煙突製造
ストーブ据付
板硝子ペイント塗料
京城本町二丁目（電話三二三番）
岩見伊勢松商店

## 女鳩　渡邊默禪

「二二」鬼になるとも

『おい、もう話ができますか』平馬老人は悦んで住江の顏を見ると、青い唇を戰はして何か言ひたさうにしてゐる。で、枕頭に在つた藥をとつて、水藥をカップに注いで飲ましてやつた。住江は心もちお辭儀をしてから苦しさうな呼吸を整へて

『いろ〱お世話さまになりまして有難う存じます。只今お二人樣のお話は承はりましてございますが、それにつきまして私しからのお願ひは……』

これまで言つてコン〱と咳をした。瓦斯の中毒で呼吸機が傷んでゐるらしかつた。平馬は膝行出して

『む、む。どんな……』

『どうぞ此儘になすつてお屋敷にお置き下さいますやうに……』

『む、やはり主人のお手許で治療をしたいのかな』

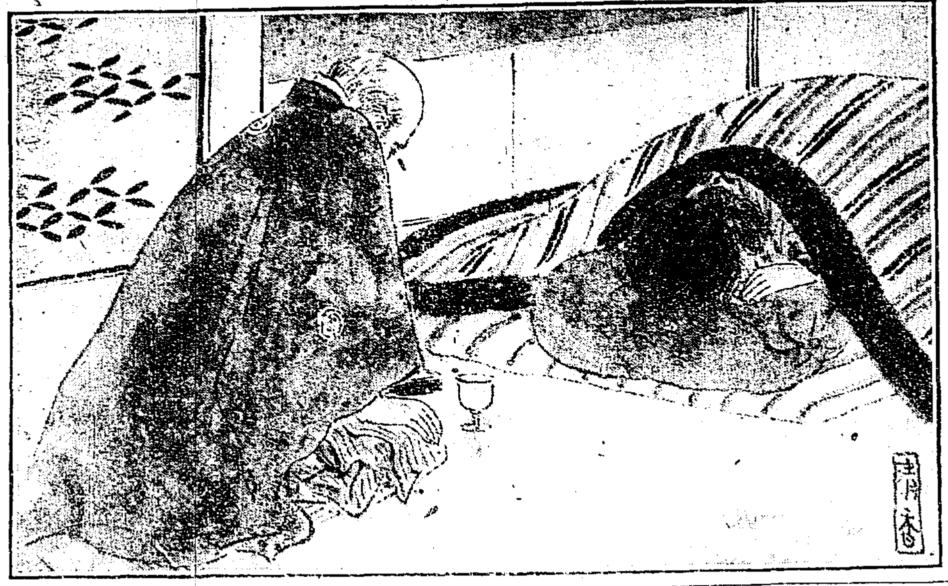
『はい、お臺所の隅でも苦しうはございませんから、お寢かしなすつて……もしお臺所では邪魔になると仰有るなら、物置の中でも宜しうございます』

『ふむ〱』平馬は感心したやうな驚いたやうな、憐れむやうな太息を洩らして『それ、そんな慘たらしい取扱ひをされぬから私が心配して居るのぢや。犬や猫ではあるまいし、其物置に寢かして置くといふ譯にはいくまいぢやないか。ハヽヽヽ』故意とらしく笑つた。その笑が秀子に對する不滿と憤りの波動であつた。

『いゝえ、結構でございます』

『左樣か、宜しうござる』頷いて秀子の方を向けた『住江はあのやうに申しまするで、どうぞ屋敷内の一室を充がつて治療させて下さいまし。そして誰ぞ一人主任者をお取極めの上に、できるだけ懇切に看護させて下さいまするやう、これは手前からのお願でございます』

その強情さ加減に惘れはてた秀子は、險しく稜立てた眼尻に住江を睨みつけたまゝ、少時默つてゐた。



平壤名産 玄武栗 値下 ◉生栗卸小賣 旭町一 玄武堂 電話一五七二へ掛け下されば配達致します

『では兎に角、あちらの部屋に移しまするが、宜しうございますか。此處では餘りに御臺所に近うございまするで』老人は立ちかけた。

『お待ちなさいよ。そんな勝手なことをされては困ります』秀子は突慳貪に遮つた『外の室に移すといふことは絶對に不可ません。醫の身分とは違つて今は御飯炊ぢやありませんか。御飯炊なら御飯炊相應の待遇をしなければ、女中一般の紀律といふものが立ちません。當人は物置でも結構だといふから望に任せて物置に入れたら如何です』

京城旭町一丁目四番地（旭町上る左へ入る）島崎病院 電話三七三六番 外科 花柳病 皮膚科 耳鼻 内科 咽喉科 ●診察夜九時迄 ●院長醫學士 島崎龍一 手術室新設、隔離室、普通病室設備 入院隨意

『それは酷うございます、いかに何でも實母の娘を……』

『何う。むやあ、火事を出した部屋がいゝわ。御室は此の人の起臥して居たところなんだから……それ以外はたとへ一切不可ません。それからね、鈴木か誰か一人附添はせてたんてお前が言つたけれども、那麼贅澤な眞似はさせられないぢやないの、名家が御飯炊の病人に……第一、みんなは銘々の持役があつて忙がしいんだからね、構つちやゐられないわよ』

餘りといへば非常識な言に、さしもの平馬も只喫然として言ふところを知らなかつた。秀子は是だけ言ひ捨ててから、つんとした風で奥へ引込んだが。廊下に彫む上草履の響もいつもとは違つて荒かつた。見ると住江は枕の上に顏をあて、潸々と泣いてゐた。髮け立つた鬢の毛は胸一杯の口惜さを語るやうにふる〱と戰ぐ。平馬は慰めの語もつきて愴然と口を噤ませた。

『やれはや、何といふことぢや。住江さん、私、氣の毒でならんがの』と、住江は切齒をしながら

『いゝえ、私し、これなり、死、死んでも女の一念を徹さずには置きません。假令、鬼になつても此のお屋敷は守ります。はい、必と守りますよ』

係う言つて身顫ひした。

京都 呉服 永樂町二丁目 たまや出張店 電話二一九六

回公州迂疎會句集 一九月二十八日夜於爲兎居…

諸義聽て後緊張す夜長哉　不醉
大聲に呼ふ船頭や霧深し　空堂
參籠の日滿つる朝や霧深し　可舟
秋雨や雀群れゐる畔ポプラ　神岳
朝霧の街曳いて行く肥車　瓜秋

癒えし病霧に一矢を射る見る　石香
呼ぶ聲へ登る御山や霧深し　如雪
失戀の神秋雨にまかせけり　同
時計のみ刻む力の夜長かな　友洋
芋を煮て燭にしたしむ夜長哉　同
酒買に闇引きあたる夜長哉　奇石
胡霧や文展の繪の水車　同
渡ゆるく霧にぼやくる汽笛哉　如風
讀進む門樓の新に霧罩めぬ　同
倒潰の倉そのまゝに野菊哉　同
宵に凝る野良の風聽く長夜哉　鳥兎
枚塀や夕霧通る草の花　同
夜霧こむる峽の邑や物音　同
夕風に古塔指さす野菊哉　同
此溺の背にしむ酒夜長かな　兀香
砂時計博士が卓の夜長哉　同
野猪の探りありくや霧の中　同
夕霧や汽罐の湯を抜く汽笛の音　同
登節にもれて野菊に佳調あり　同
長き夜を黒き縫ふ妻哉　雨村
腹通や家事には疎き夜長人　同
山黒く夜長の小村閑みけり　同
入舩や舟河を下る霧の中　同
霧晴れて船窓に近し島の町　同
搭乗しカンパス据ゑる野菊哉　同
秋雨や夜に入りて著く下り汽車　同

◎大日本漢文學會の發展　漢文學の普及… [illegible]

天高肥馬漢陽の健兒元氣如何浩然の氣を養ふべきは今なり野に山に大に其健脚を逞べ冠詰可なり水落亦好し同行の士きや香（醉仙生）▲京城では魚屋が困ると魚が賣れぬとかこぼして居る相なが仁川で京城行の魚類を調べて見ると出荷量は虎疫以前と大した相違はない而うして見ると其の魚類は何處に行くのだらう（仁川の魚商）▲龍山官舍の七五の主人は鷄を飼ふのは好いが他人の草花をどし〱鷄が食うて歩くのを知らぬのかしら誠に迷惑千萬である官舍居住規則に照し殺して食いますから左樣御承知を願いたい（官舍主任）▲平壤では近頃兵器支廠問題で何々町會とか市民有志大會とか大騷ぎをやつて居るが如何かうまく行けばよいが萬一浦か龍山に取られる樣な事があると平壤市民の估券にかゝわる譯だ（弥次馬）▲京城秋季大祭は大に盛にやるが好と云つたつて暴飲暴食は注意して貰ひたい折角賑はして後で虎疫患者などが澤山出てはやりきれない而し其他の方法で大に賑かにやるのは贊成だ吾輩も假裝行列に出るよ（本町の喜多太）▲此頃又た賑やかな道路で小さな小供が遊んで居るから危なくつて仕樣がない親達は注意せねと飛だ間違が起るよ（自轉車先生）

## 商況

二日附夕刊の東電株欄に二日後場とありしは前場の誤りに付訂正

### 大阪株式特電

| | | |
|---|---|---|
| 東京電鐵 | [illegible] | 五〇、六〇 |
| 京阪電鐵 | [illegible] | 三二、九〇 |
| 和歌山紡 | [illegible] | [illegible] |
| 合同紡績 | [illegible] | 二二八、〇〇 |
| 鐘紡 | [illegible] | 二〇九、八〇 |
| 同上新株 | [illegible] | [illegible] |

### 大阪三品

| | | |
|---|---|---|
| ▲二日後場 | | |
| 十月限 | 一五五、九〇 | 一五六、〇〇 |
| 十一月限 | 一五五、四〇 | 一五五、四〇 |
| 十二月限 | 一五四、九〇 | 一五五、〇〇 |

### 下關期米特電

▲二日後場（天候曇れ氣配（さ券売高に氣強る））[illegible] 後場當限寄付十三圓九十六錢△中限寄付十四圓二十二錢△先限寄付十四圓四十四錢

### ▲後場保合

天候順天大阪の [illegible]

▲一日後場▲兵庫接寄十四圓三十八錢東京隣時休會大阪前止十四圓四十錢後寄四十四錢の入荒にて常地當限寄十四圓十二錢に十二圓五十一錢より五十錢と二リ一錢引締ふる閑散商内の裡に八十六錢と四錢高に寄付たるし市場閑散に保合の裡に三錢と押して動かず四錢上保合の裡に散會

### ▲市場閑散

仁川米界は中限に店よりで僅若買にマバッ賣向ひたるに過ぎなかつた [illegible] の脈入深甚なる者あり時期は已に天災期を去り探收期に入りたるより新市受合後の變動は面ふる趣味多からんと期待せられしに存外見聞合見で閑散を呈したり是必 [illegible]

### ▲目先小相場乎

新市十二月限は前日中勤に全部納入を了したり [illegible] あらんさ期待せられ [illegible] 存外大阪の落付を根じたるより當地は前場小變動を演出したるも後場は夥丈見るべき商内行はれず見送り氣配となりたり新市の [illegible]

### ▲現物界

諸出荷カ十二圓九十錢黄海道地指十一圓七十錢等にて六百石を販出來たり氣配は別段變らず保合を唱へ居れり

▲大豆 水原大豆七圓三十錢出來

▲後場中限（十一圓五十一錢 [illegible] 五十一錢 [illegible] [illegible]

| | | |
|---|---|---|
| 高値 | 十一圓八十六錢 | |
| 安値 | 十一圓八十三錢 | |
| 出來高 | 三千九百石 | |
| 平均（一節） | 十一圓八十 [illegible] | |
| （二節） | 十一圓八十四錢 | |
| （三節） | [illegible] | |


# 新刊書御案内

| 書名 | 著者 | 定價 |
|---|---|---|
| ◎日本債權法總論 | 鳩山秀夫 | 一八〇 |
| ◎名將之戰略 下卷 | 岡谷繁實 | 二〇〇 |
| ◎西洋上古史 | 村川堅固 | 一七〇 |
| ◎ヲ氏宗教學原論 | 鈴木宗忠・早船慧雲 | 二〇〇 |
| ◎祝祭日祭典演說範 附 | 大町・馬場 [illegible] | 一五〇 |
| ◎式辭文錄 | [illegible] | 一二〇 |
| ◎快心錄 | [illegible] | 四〇 |
| ◎時價比古錢通 | [illegible] | 一二〇 |
| ◎獨乙文法辭典 | 山田平 [illegible] | 特二五〇 |
| ◎解説獨乙文法講義 | [illegible] | 一〇〇 |
| ◎一喝禪 | [illegible] | 九〇 |
| ◎處世禪 | 丸山小洋 | 六〇 |
| ◎鈔日本外史講義 | [illegible] | 九〇 |
| ◎萬有之神秘 | 同 | 一二〇 |
| ◎中學修身自修書 | [illegible] | 九〇 |
| ◎學生立志鑑 | [illegible] | 六〇 |
| ◎アンナ・カレニア | 松居松葉 | 七〇 |
| ◎青春 | 小栗風葉 | 一五〇 |
| ◎戰爭と平和（三） | [illegible] | 七五 |
| ◎うき身 上編 | [illegible] | 一四〇 |
| ◎改題九種傳染病豫防 | 北島多一・瀧川 [illegible] | 六五 |
| ◎中學實業入學試驗準備 | [illegible] | 四〇 |

大阪屋號書店 京城本町 電六八四 二〇八六 振替京城二五七三



FERROL

最高滋養 フェロール

フェロールは醫家名病院の御用を蒙り萬人の嗜好に適す強壯劑なり

美味 芳香

適應症 醫家 ▲名家病院 ▲産前産後 ▲發育不良 ▲胸膜炎經 ▲消化不良 ▲營養不良 諸症

價格 試用 中瓶 大瓶 約二日分 約十日分 約二十日分 貳拾錢 壹圓 壹圓七拾錢

◎本品の外に淡味のグヤコール等の各合劑もあり アルゼン

各藥舖に販賣す御用無き地方は本舖に

試用瓶發賣

「フェロール」は在來輸入せる最新營養劑たる「フェラトーゼ」代用に創製せし最高滋養劑なり其芳香美味は如何な藥嫌ひ又は御婦人お小供衆にても服用し安く效顯の確實さ共に近頃一層需用を增し候

今般新に試みられんとする方の御便利を計りて試用瓶二日分二十錢を發賣す流行病豫防夏瘦せ回復の時は今幸に御試用を乞ふ

本舖 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛



東京一の香氣が良くて垢がよく落ち肌を美しくするお誂へ向の石鹼は日本一のエグロン石鹼 エグロン石鹼

東京・丸の内 藤原商店化粧品部 支店 京城黄金町二丁目



色が白くなる

當院に於て實地に美容術に用ひて効力多きは已に世人の知る處也 藥を飲むでもつけてもきかぬ方は當院の白色劑を試みらるべし 洋行研究にかゝる最良藥

面にきび、そばかす、しみ、やせる藥 毛生劑 拔毛止 毛拔劑 くせ毛藥

本院は行商せしめず詐欺濟に御注意 東京駿河臺 東京美容院 藥の說明書送呈



かつけ 胃腸 心臓病 特効 精錬

定價金五十錢 ◎本舗 大阪市安堂寺橋通二丁目 佐藤ライト商會 ◎精錬は近時模倣品と稱するにせ物有之御買求の節は必ず全國各藥店に販賣せり 店名御指命を乞

效能 逆上を引下げ便通をよくし滋毒其他諸毒を下す

今も 昔も 效能で賣れる ひめぐり

本家 はしかやき 伊藤長兵衛



拜啓 伊藤芳彌儀病氣療養罷在候處本日午前九時三十七分永眠致候間此段御通知申上げ且生前の御厚情を奉謝候 敬具

追て明三日午後二時出棺途中行列を廢し阿峴里墓地に於て佛式を以て葬儀相營可申候

大正五年十月二日

兒 正次

親戚總代 北原利男

友人總代 中西瀧太郎



神佛葬儀請負 供花御寄贈品一切 京城大和町壹丁目五一 大和葬儀社 電話二四三八番



葬儀請負 供花御寄贈品一式 京城本町二丁目（壽館横） 朝鮮葬儀社 電話五六二番



## 汽船釜山出帆廣告

○立神丸 門司、神戸、大阪行 月 日 後五時出帆

○元山、清津、浦鹽行 立神丸 月 日 後十時出帆

○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日 後十時出帆

○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日 後六時出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日 後六時出帆

○任須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月一日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山辨天町 本船取扱店 大池回漕部



## 阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 關東都督府命令船 第一共同丸 九月二十九日後四時入 十月一日正午出帆

大連にては青島行定期船接續北清海岸各港への特別取扱仕候 南鮮航路大連航路は鐵道院及朝鮮鐵道と聯絡輸送取扱仕候

○城津、浦津、浦鹽行（元山出帆） 第二朝鮮丸 月 日 後九時出

○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日 前八時出

阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 本町一丁目 電話（一〇八番） 山下回漕部

元山代理店 泰田町（電話二四七番） 田口回漕部

京城取次店 南大門 電話二六八・二〇七 河村運送店



## 尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪直行 君が代丸 十月三日 後四時出帆

○大有丸 十月六日 後四時出帆

○神代丸 月 日 後四時出帆

○秀吉丸 十一月一日 後四時出帆

仁川海岸通 電話五十九番 高杉回漕部



## 大阪商船仁川出帆

○外航所屬船は航路並に出帆時間を變更することあり [illegible]

○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 ××須磨丸 十月四日 / ×済州丸 十月十一日 / ××天智丸 十月七日 後五時出

○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 ××信濃川丸 十月二十日 / ×信濃川丸 十一月三日 後二時出

○群山、釜山、横濱行 △△福州丸 十月九日 / △潮州丸 十一月一日 後二時出

○南浦、鎭南浦、門司、神戸、大阪行 ×漳州丸 月 日 後二時出

○鎭南浦、大連行 ××信濃川丸 十月十五日 / ×信濃川丸 十一月二日 後二時出

○大連直行 △△福州丸 十月三日 / △潮州丸 十月十五日 正午出帆

○鎭南浦行 ×天智丸 月 日 正午出帆

○清津、浦潮行（元山出帆）▲印ハ城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港 ▲安平丸 十月六日 / ▲宮島丸 十月十二日 後二時出

○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 基隆丸 十月廿六日 後四時出 / 湖北丸 十一月十五日 前六時出

御注意 ●朝鮮鐵道及び滿洲鐵道會社との聯絡切符取扱 [illegible]

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話（二一〇・五五〇番） 京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話（七〇八番）



## 日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行 相模丸 十月九日 正午出帆 / 高砂丸 十月十九日 正午出帆 / 三河丸 十月三十日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部



## 朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五番・二三二番 京城南大門 京城各取扱店 松原運送店（電話長一七〇番）

○全羅丸 十月九日 / ○京畿丸 十月十八日 / ○黄海丸 十月三日 / ○咸鏡丸 十月十三日 釜山發（門司より釜山各港寄港羅南浦航路）

○穩城丸 十月一日 / ○昌平丸 十月八日 / ○鏡城丸 十月十四日 元山發（元山より各港經由雄基行）

○忠清丸 十月二日 / ○平壤丸 十月十二日 元山發（城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行）

○永興丸 毎月廿八回 元山發（北久味、五里浦行）

○盈德丸 十月六日 釜山發（甘浦、九龍里、浦項各港寄港蔚陵島行）

○江陵丸 / ○鬱陵丸 毎日 釜山發 / 浦項發（長生浦方魚津寄港）

○三浦丸 十月六日 釜山發（長承浦、巨文島濟州島各寄港）

○海州丸 / ○統營丸 / ○慶寶丸 / ○巨濟丸 毎日 釜山發

○順天丸 三日目每二 木浦發（各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續）

○慶興丸 十月四日 木浦發（各港經由濟州島行西廻）

○慶興丸 十月二日 木浦發（南多島海列島行）

○公州丸 十月七日 木浦發（各港經由濟州島行東廻）

○宗信丸 十月三日 仁川發（海州他各港經由、鎭南浦又は白翎島行）

○江原丸 十月七日 仁川發（喬島、大連、芝罘行）

○羅水丸 / ○晋州丸 十月二日 / 十月七日 仁川發（各港經由木浦行）

○全州丸 / ○南陽丸 毎日午前 仁川發（江華島、喬桐島、海州行）